

42749

教科書文庫

4
290
31-1925
2000042096

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

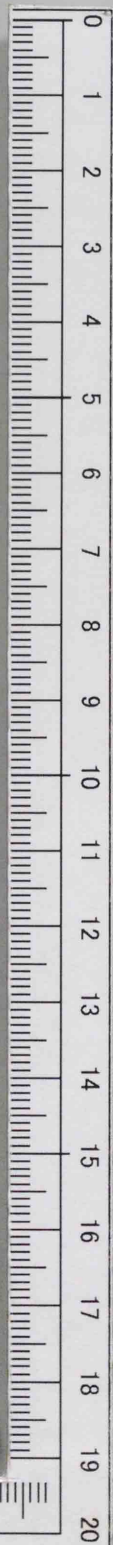


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫
4
290
31-1925
2000042096

尋常小學地理書 卷一

兒童用

文部省

教科書文庫

4

290

31-1925

2000042096

資料室

375.9  
M014



文部省

尋常小學地理書卷一



兒童用

広島大学図書

2000042096



375.9  
M014

目録

第一 日本	一	第七 四國地方	百二十一
第二 關東地方	八	一區域	百二十一
一區域	九	二地勢	百二十一
二地勢	九	三産業	百二十三
三産業	十五	四交通	百二十七
四交通	十九	五都邑	百二十八
五都邑	二十四	第六 九州地方	百二十九
六伊豆七島小笠原諸島	二十八	一區域	百二十九
第三 奥羽地方	三十	二地勢	百三十
一區域	三十	三産業	百三十八
二地勢	三十	四交通	百四十六
三産業	三十八	五都邑	百四十九
四交通	四十四	六薩南諸島琉球列島	百五十一
五都邑	五十	附録	一
第四 中部地方	五十二		
一區域	五十二		
第五 近畿地方	七十二		
二地勢・氣候	五十二		
三産業	六十五		
四交通	七十五		
五都邑	七十八		
第六 中國地方	百八		
一區域	百八		
二地勢	百八		
三産業	百十一		
四交通 瀬戸内海の交通	百十五		
五都邑	百十九		



尋常小學地理書卷一 兒童用

第一 日本

我が國の領土・四周

我が日本は、アジヤ洲の東部にあつて、日本列島・小笠原諸島・朝鮮半島から成立つてゐる。

日本列島は、東北から西南へおよそ一千二百里にわたつて、太平洋の中に連なつてゐる大小數多の島々である。其の中、ことに大きいのは、本州・北海道・本島・樺太(南部)・四國・九州・臺灣である。小さい島々の中では、九州と臺灣との間に並んでゐる琉球列島、

北海道本島の東北に並んでゐる千島列島が主なものである。小笠原諸島は日本列島の東南にある。朝鮮半島は、アジヤ大陸の東部の一大半島で、北から南にかけて長さ二百餘里、北は支那の満洲、及びロシアのシベリヤにつゞいてゐる。

日本列島の東北から西・西南にかけては、オホーツク海・日本海・黄海・東支那海があつて、これ等の海をへだてて、アジヤ大陸のシベリヤ・支那及び朝鮮がある。日本列島の西南から東にかけて太平洋の中に、フィリピン群島、及びハワイ諸島、其他大洋洲の

尋地一

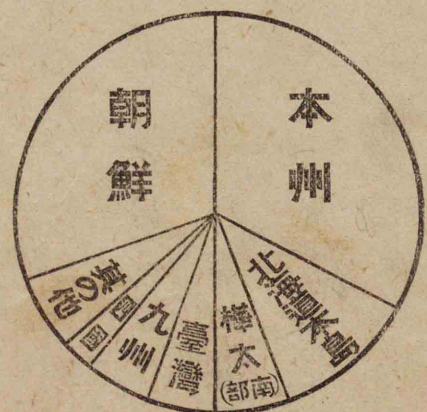
面積

地勢  
氣候  
産業  
交通

島々がある。又太平洋をへだてて、東に北アメリカ洲がある。

我が國の總面積は四萬三千餘方里。本州と朝鮮半島とは、各其の三分の一に當つてゐる。

我が國は、東北部には寒さのきびしい處があり、西南部には暑さのきびしい處がある。しかし大部分は氣候が温和で、雨量もゆたかで、地味が肥えてゐる。それ故、一般に山が多く平地が少いにかゝはら



面積の比較 (附近の島々を含む)

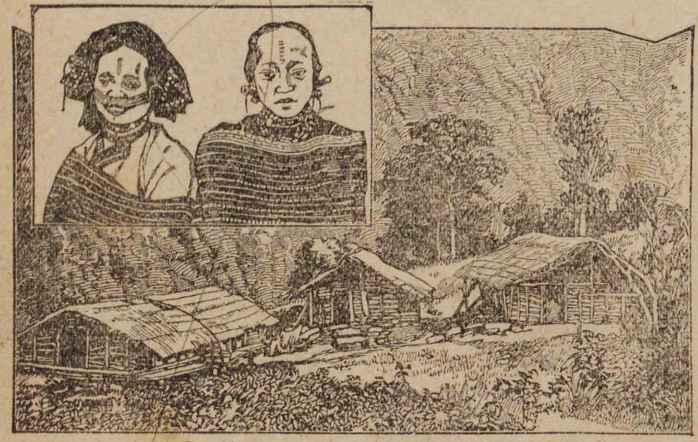
尋地一

ず、種々の農産物が出来る。森林地が多いので、林産物も少くない。又處々から鑛産物も出る。川は大てい狭くて、短く、流れが急で、交通上の便は少いが、灌漑や発電には利用されてゐる。近海には暖流や寒流があるので、水産物がたくさんに取れる。

かやうに、種々の天産物があるので、農業・林業・鑛業・水産業が、それ／＼相當に發達してゐる。これに伴つて、工業も發達し、盛に内外各地の原料を使用して、種々の工業品を造つてゐる。又これと共に、商

尋地一

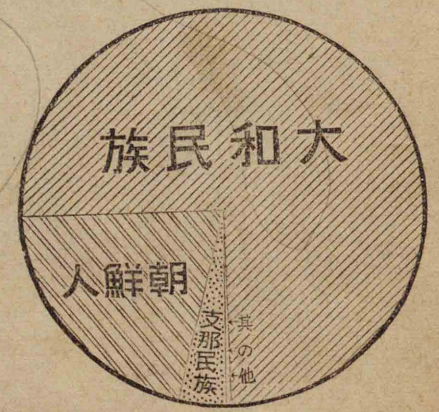
國民



家住の其と人士灣臺

業も發達して、諸外國との貿易も盛である。したがつて道

路鐵道  
航路も  
開け、郵  
便、電信、電話なども行きわたつてゐて、内外の交通が海陸共に便利である。  
國民の總數はおよそ八千萬、其の大部分は大和民族であ

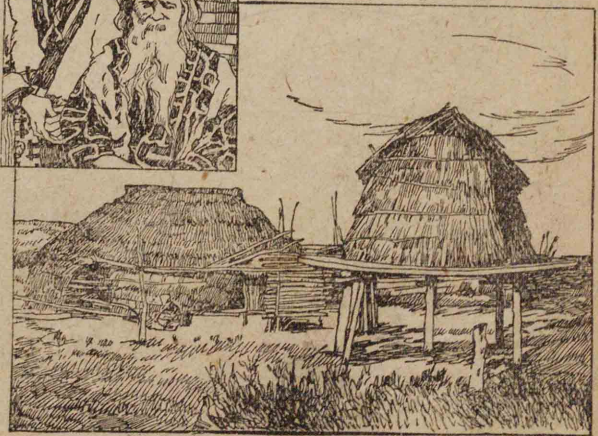


台割の其と別族民の民國

行政區劃

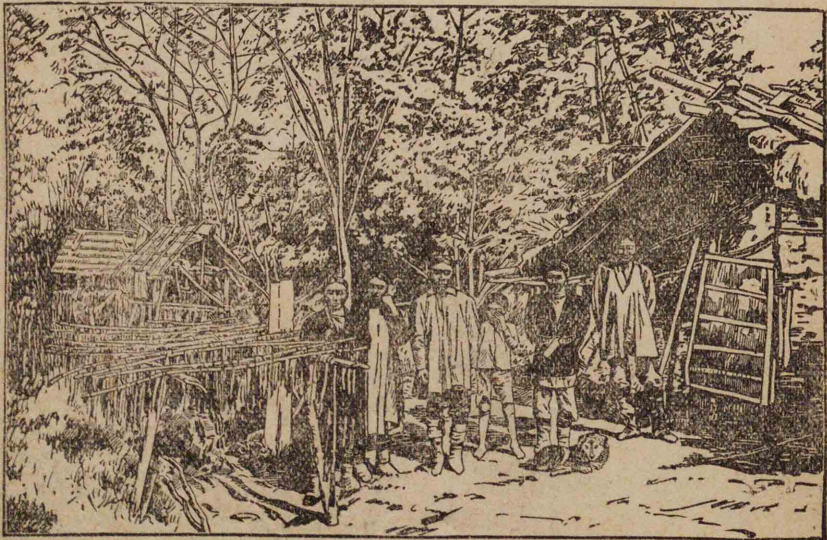
るが、朝鮮には一千七百餘萬の朝鮮人、臺灣には十餘萬の土人と、支那から移住した三百餘萬の支那民族がある。又北海道本島には少數のアイヌ人、樺太には少數のアイヌ人と、その他の土人がある。諸外國に移住してゐる我が國民は百三十萬ばかりである。

行政上の便利のために、本州・四國・九州・琉球列島・小



アイヌ人の其の家

笠原諸島を三府、四十三縣に分け、之を治めるため、府には府廳、縣には縣廳を置いてある。その他北海道本島・千島列島を北海道廳として、こゝに道廳を置き、樺太には樺太廳、朝鮮・臺灣にはそれぞれ總督府を置いてある。



ギヤリヤ人の其の家

地方區劃

我が國にはこの外に、支那から租借してゐる關東州がある。又列國から預かつた南洋諸島がある。それで關東州を治めるために關東廳、南洋諸島を治めるために南洋廳を置いてある。我が國の政府は東京にあつて、これ等の諸官廳を總轄してゐる。今、便宜のため、全國を關東地方以下の十一地方に分けて述べる。

第二 關東地方

尋地一

一 區域

東京府と神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の六縣の區域を關東地方といふ。

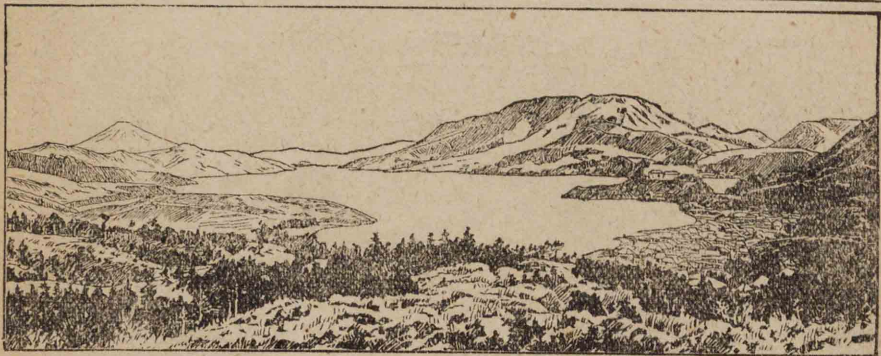
二 地勢

關東地方の地勢の略圖と断面圖



關東地方は、西部から北部にかけては、一體に山地で、南部

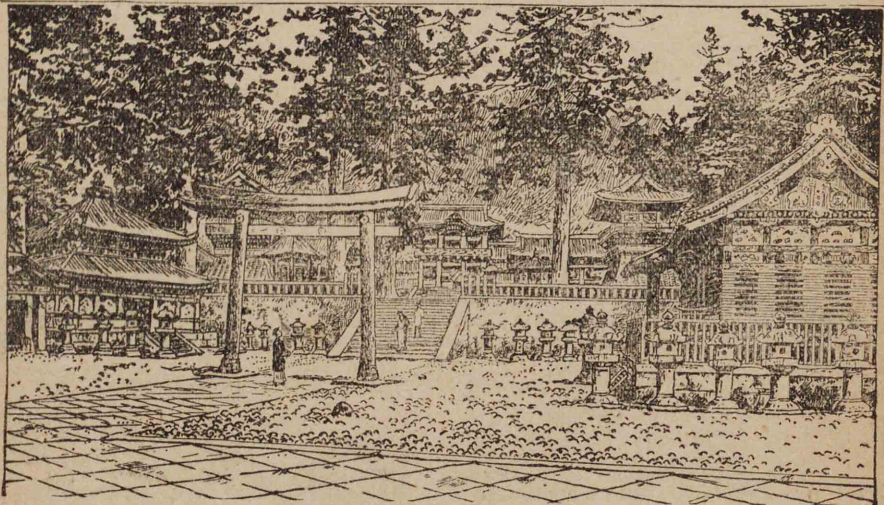
山



箱根山の一部分(近湖)と富士山

の房總三浦の二半島には小山が多い。其の他の大部分は一面の低い平地で、廣さにおいて我が國第一といはれる關東平野である。川は主に西部・北部の山地から出て、ゆるやかに平地を流れて、東京灣又は相模灣にはいり、或はたゞちに太平洋にはいる。

北部の山地には三國山脈と那須火山脈がある。那須火山脈には那



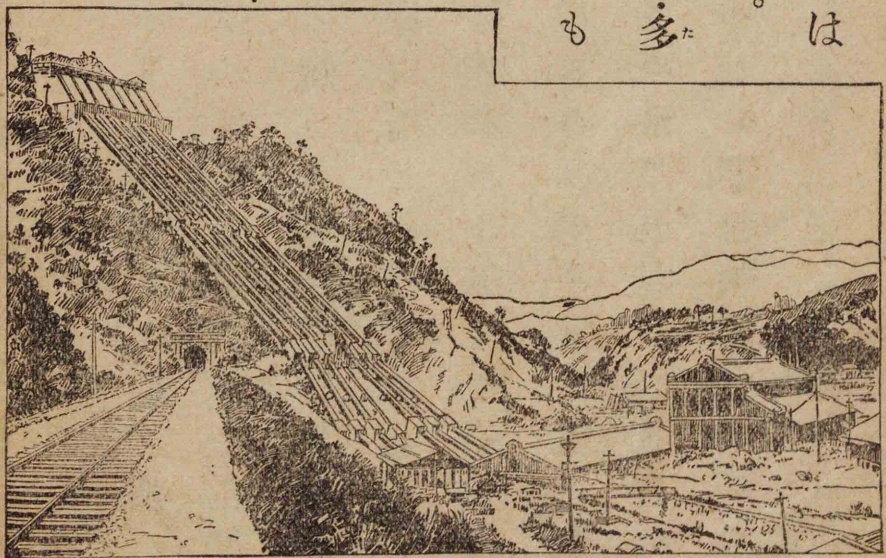
東照宮

須男體・赤城・榛名の諸火山があつて、關東平野の北を日限つてゐる。又西部の山地光には富士火山脈の箱根山がある。これ等の火山のある處には温泉地や景色のよい處が多い。中でも塩原日光・伊香保・箱根がことに名高い。日光は有名な東照宮のある處で、自然の美と



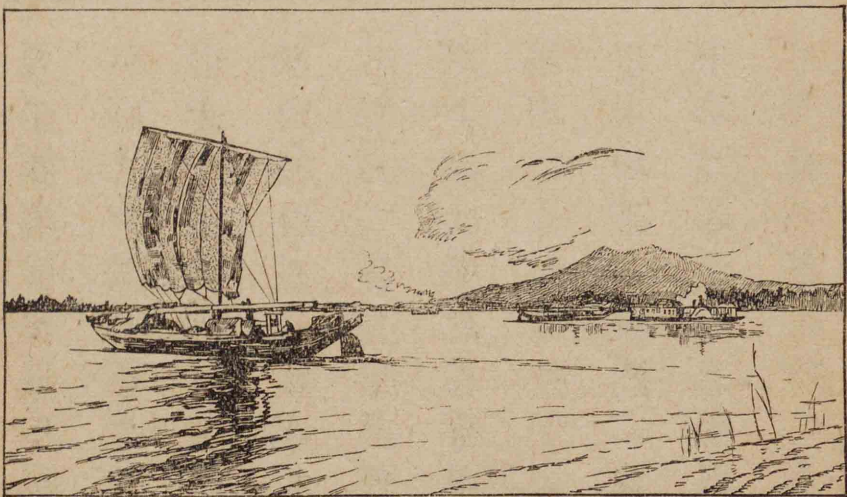
川・平地

人工の美を兼ね、其の名は外國までも聞えてゐる。川は那珂川・利根川・荒川・多摩川・相模川が其の主なるもので、大てい上流は發電に、下流は灌漑運輸に利用されてゐる。中でも利根川は、流域が最も廣く、下流は霞浦や支流の江戸川などと航路がつゞ



(るめに縣梨山) 所電發の流上川模相

尋地一



霞浦

いてゐて、汽船も之を往來してゐる。我が國で水運の便の最も多いのは、實にこの川である。相模川と、利根川の支流の鬼怒川とは、盛に發電に利用され、其の電氣は主として東京に送られて、電車の動力や電燈に用ひられてゐる。

海岸

又多摩川の水は東京にひかれ、相模川の水は横濱にひかれて、市民の飲料水や用水になつてゐる。關東平野は大部分が、上に述べた諸川の流域で、地味が肥えてゐる。又近海を流れる暖流や、北部西部の山地の影響で、氣候が温暖である。之がために産業が盛で、人口も多く、交通も便利で、いたる處に都邑がある。

この地方の南部には、房總三浦の二半島があつて、東京灣をかこんでゐる。この灣内は波がおだやかで、交通の便が多く、沿岸に東京、横濱、横須賀がある。

尋地一

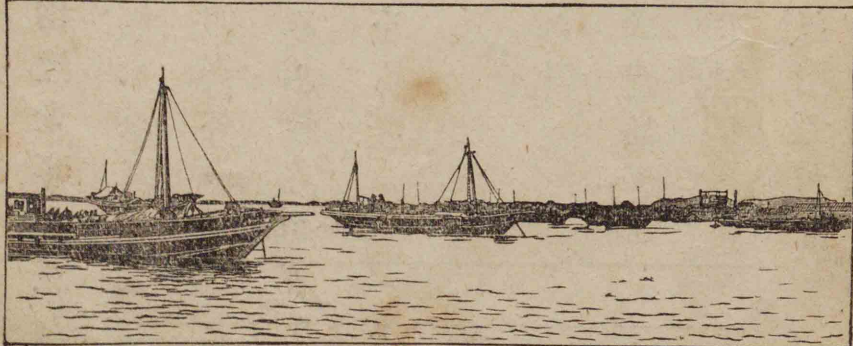
農業・工業

この他の部分では、海岸線の出入が少く、砂濱が多いので、良港はほとんどない。やゝよいのは、利根川の川口の銚子港である。

相模灣の沿岸と房總半島の海岸は、氣候が温和で、風景がよく、ことに相模灣沿岸の鎌倉は歴史上にも有名な處である。

三 産業

農業は一般に盛であるが、關東平



銚子港

野がことに盛である。其の主な産物は米・麥・大豆・野

菜で、中でも麥は其の産額が多  
く、我が國の麥の總産額の六分  
の一はこの平野から出る。この  
平野の東北部では煙草をも産  
する。

關東平野の西部・北部から附近  
の山地にかけては養蠶業・製絲  
業が盛で、ことに群馬・埼玉二縣

が名高く、前橋は繭生絲の主な集散地である。

較比の額産の米  
(年九正大) 外内石萬千八額産年の米の國が我

地臺 方海	地 方	朝鮮	地 方	他 の	其 の	地 方	關 東	地 方	九 州	地 方	奥 羽	地 方	中 部
----------	--------	----	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

業が盛で、ことに群馬・埼玉二縣  
の山地にかけては養蠶業・製絲  
業が盛で、ことに群馬・埼玉二縣

較比の額産の麥  
(年九正大) 外内石萬千三額産年の麥の國が我

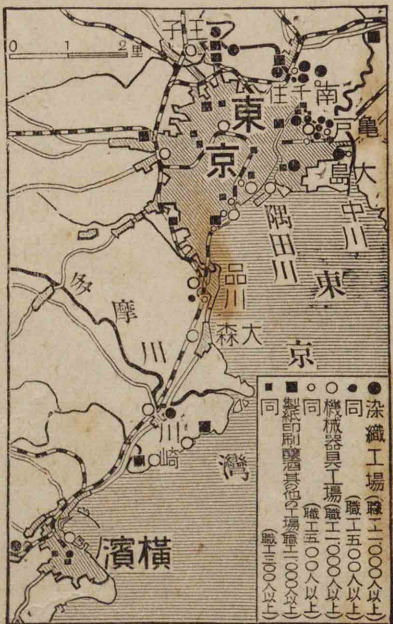
關 東	地 方	其 の	他 の	地 方	其 の	地 方	關 東	地 方	其 の	地 方	關 東	地 方	其 の	地 方
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

尋地一

鑛業

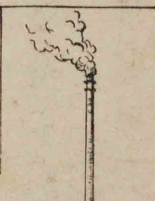
この一帯の地方には絹織物業も發達してゐる。絹  
織物の産地として  
名高いのは、桐生・足  
利・八王子である。  
東京横濱及び其の  
附近では大きい工  
場がたくさんあつて、綿織物・毛織物・機械染物・綿絲  
肥料・雜貨などを製造してゐる。したがつて東京・横  
濱には商業も盛である。

關東地方には、日立・足尾の二大鑛山があつて、金・銀



東京・横濱及び其の附近の工場  
布分の場工大

銅の鑛石を産する。いづれも大きな製錬所があつて、他の鑛山の鑛石をも製錬してゐる。其の製錬高は、兩鑛山とも銅が第一で、日立鑛山では金銀も多い。又常磐炭田では處々で石炭が採掘される。この炭田は我が國屈指の大炭田で、奥羽地方の南部



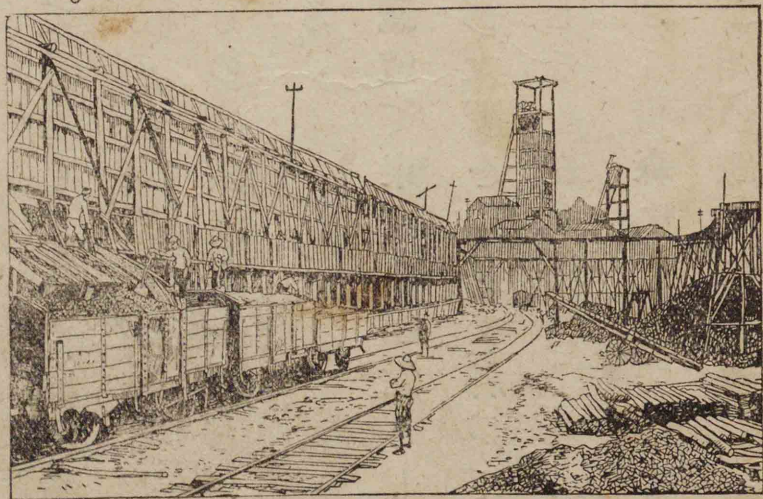
日立鑛山の製錬所

尋地一

水産業

にまでもつゝいてゐる。近海に暖流があつて、水産物が多いから、漁業も盛で、漁獲高はいわしが第一である。主な漁場は千葉縣の太平洋方面の近海で、主な漁港は銚子港である。東京灣の北部では淺瀬を利用してのりを養殖してゐる。

四 交通



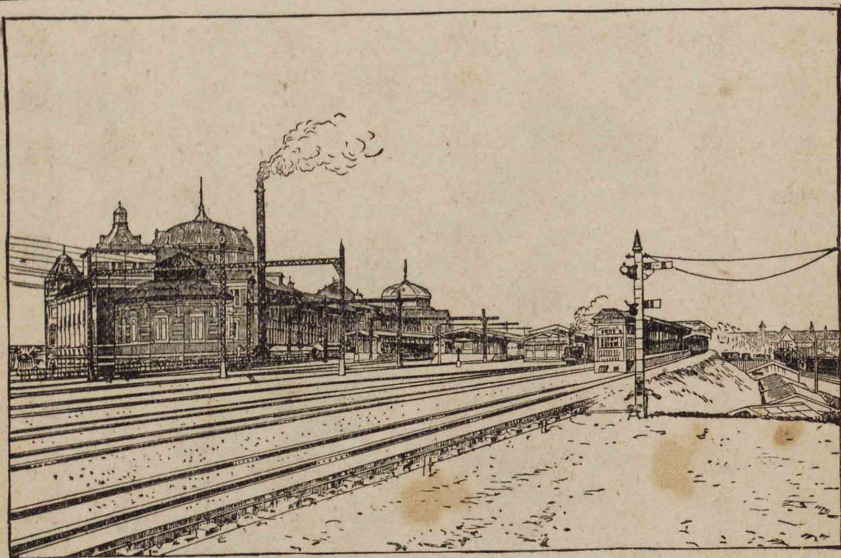
常磐炭田における石炭の積出し(福島縣にあつた炭坑)

陸上の交通

交通は一般に便利である。ことに東京・横濱地方は、我が國で交通機關の極めて發達してゐる處であつて、我が國の鐵道の主なもの、東京を起點として各地に通じ、航路の主なもの、横濱を起點として内外の諸港に通じてゐる。

東海道線は我が國主要の鐵道で、東京を起點として西に向ひ、横濱・名古屋・京都・大阪を過ぎて、神戸で終り、こゝで山陽線に接續してゐる。東北線は東京から東北に向ひ、仙臺を過ぎて、青森に達してゐる。この二線と山陽線は、共に本州の鐵道の幹線で、設

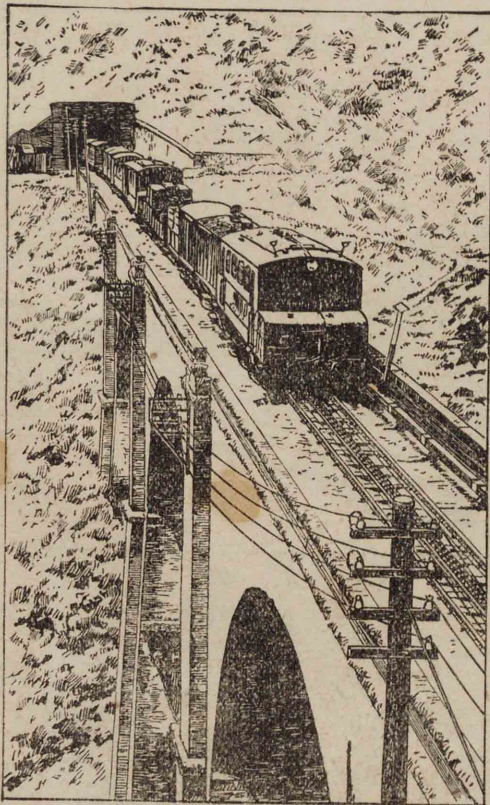
尋地一



東京停車場

備も最もととのひ、汽車の速力も最も早く、往復回数も最も多い。この外、東京から東北部の海岸をへて、奥羽地方に入り、東北線と合する常磐線があり、又東京から中部地方の山地を通つて、名古屋に出る中央線がある。又東京・高崎間には高

崎線、高崎・新潟間には信越線が通じてゐる。東海道線や中央線や信越線が、關東平野を過ぎて、



碓氷峠の鐵道とネトル

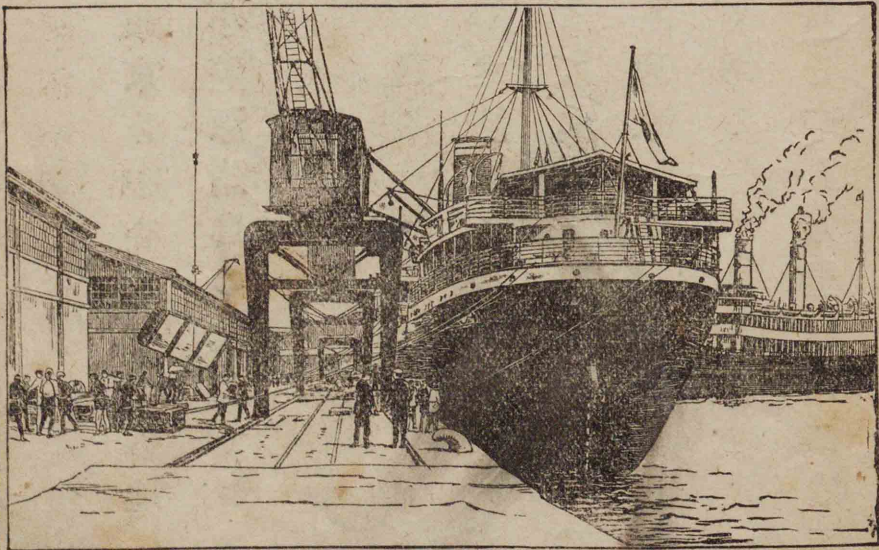
碓氷峠では、傾斜がことに急なので、線路に齒止めを設け、蒸氣機關車の代りに電氣機關車を用ひて

西部又は北部の山地を越える處には、線路にトネルが多い。信越線の

尋地一

海上の交通

る。東京・横濱等の都會での主な交通機關は電車・自動車である。横濱を起點とする外國航路は、南北兩アメリカ洲、支那・印度・ヨーロッパ・オーストラリア等、世界各地の港に通じてゐる。したがつて横濱には内外國の汽船がたえず出



横濱の船繋岸 (大正二十年九月の震前)

通信

入する。

郵便・電信・電話いづれも東京を中心として各地に通じ、太平洋海底電線は、小笠原諸島の父島で、アメリカ合衆國の線と接續してゐる。

五 都邑

この地方には都邑が多い。ことに關東平野は、いたる處に大小の都邑があつて、人口一萬以上のものが八十以上もある。中でも東京は國內第一、世界に於いても屈指の大都會である。

東京は我が國の首府で、廣さが五方里餘、人口は二

東京

尋地一

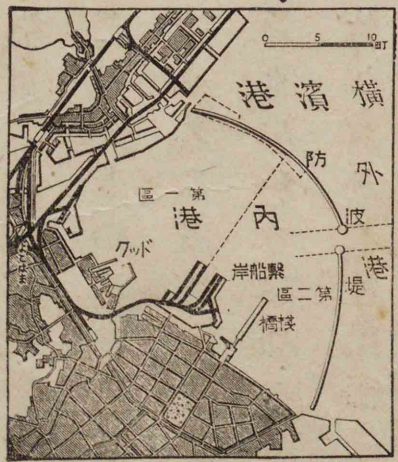
百萬を越えてゐる。宮城をはじめとして、内閣・諸官省、日本銀行など政治上、經濟上の中央機關は、皆ここに集つて居り、帝國議會の議事堂もここに置いてある。又諸外國の大使館・公使館もここに置いてある。東京は又東京帝國大學、其の他、各種の學校、博物館、圖書館等が備はつて、我が國における學術の中心地であり、圖書の出版の盛なことに於いても國內第一である。大きな銀行・會社・工場などもたくさんにあつて、商工業の中心地である。かやうにして東京は年一年に發達してゐたが、大

横濱

正十二年九月に起つた地震に伴ふ大火のため  
 に、市の過半は焼けてしまつた。しかし其の復興の  
 ために政府も國民も力を盡してゐるから、遠から  
 ず元よりもとのつた町が出来るであらう。  
 横濱は國內で一二を争ふ開港場で、其の港は廣く  
 て深く、防波堤、棧橋、繫船岸など水陸の設備がよく  
 と、のひ、大洋を航行する大きな汽船も自由に出  
 入することが出来る。貿易は輸出が主で、輸出額は  
 我が總輸出額のおよそ五割を占めてゐる。我が主  
 要輸出品の生絲、羽二重は、多くはこゝから積出さ

本埠一

れて、アメリカ合衆國・フランス・イギリス等に行く  
 のである。なほこの港から綿織物、綿絲も多く輸出  
 される。輸入品は鐵、線、綿、羊毛  
 など主に工業の原料品で、鐵  
 線、綿は大部分がアメリカ合  
 衆國から来る。  
 横濱も大正十二年九月の地  
 震と火事のために、市の大部分は破壊されたが、間  
 もなく復興されるはずであるから、將來も我が國  
 の大貿易港として榮えるであらう。

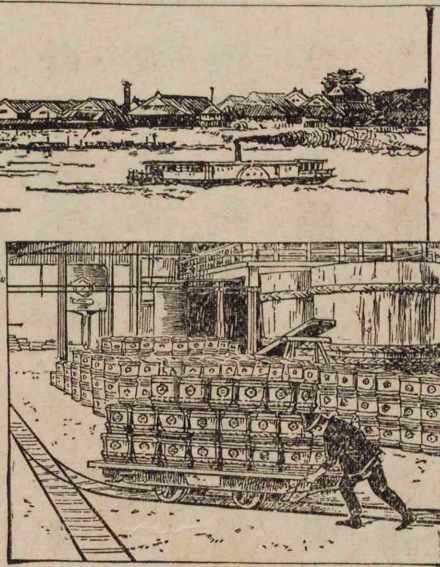


横濱港の圖



其他

千葉・浦和・前橋・宇都宮・水戸は縣廳の所在地で、それ



川戸江と(部内は圖下)場工油醬の田野

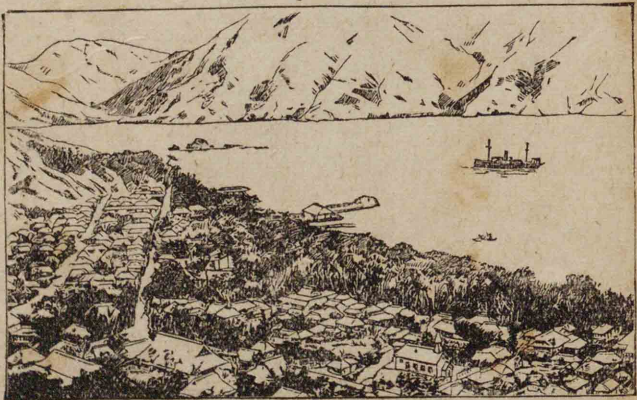
ある。又高崎は商業地として、野田は醬油の産地として名高い處である。

六 伊豆七島小笠原諸島

大島八丈島以下の伊豆七島、父島・母島

尋地一

以下の小笠原諸島は、相模灣の南に當つて南北に並んでゐる島々で、東京府に屬してゐる。富士火山脈に當つてゐるので、火山が多く、其の中で名高いのは、大島の三原山である。これ等の諸島は位置が南方にある上、暖流にかこまれてゐるから、氣温が高く、小笠原諸島はことに暖かで、さたらきびを産する。近海は魚類が多いので、方々から



港見二の島父

漁船が来て、これを取つてゐる。  
父島の二見港は、諸島中唯一の良港で、我が内地と  
南洋諸島との交通上、大切な處である。

### 第三 奥羽地方

#### 一 區域

福島・宮城・岩手・青森・秋田・山形の六縣の區域を  
奥羽地方といふ。

#### 二 地勢

奥羽地方には南北に長い山脈が三列になつ



奥羽地方の  
断面の略圖

山

尋地一

てゐる。  
中央にある山脈は奥羽山  
脈で、其の中を那須火山脈が縦に通つてゐる。那須  
火山脈には磐梯山・岩手山など、あまたの高い火山



奥羽地方の地勢の略圖

がそびえてゐる。奥羽山脈はこれ等の高い山と共に、奥羽地方の大分水嶺となつてゐる。

西にある山脈は、處々に幾つもの平地があつて切れてゐるが、大體、南の端から北の端まで、一系の山脈をなしてゐる。南の一部分は越後山脈といつて高いが、其の他の大部分は出羽丘陵といつてあまり高くない。この



山月と形山

尋地一

山脈にも一つの火山脈が通つてゐて、岩木山・鳥海山・月山などの火山がある。

東にある山脈は、仙臺平野のために南北の二つに分たれてゐる。北にあるのを北上山脈といひ、南にあるのを阿武隈山脈といふ。いづれも高原状になつてゐて、あまり高くない。

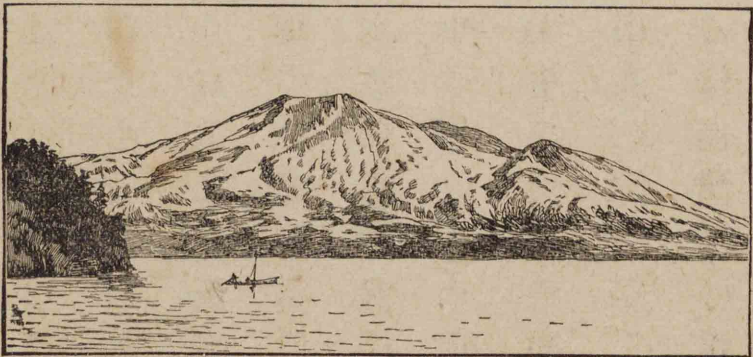
川・平地

中央の大分水嶺から出てゐる主な川は、これ等の山脈の間にある平地を流れて、東のものは太平洋にはいり、西のものは日本海にはいる。太平洋にはいる主な川は、北上川・阿武隈川で、日本海にはいる

主な川は、米代川、雄物川、最上川、阿賀川である。

これ等の川は、いづれも水運の便が少い。しかし其の沿岸は、陸上交通の要路に當り、産業も盛んで、都邑も多い。

阿賀川の水源たる猪苗代湖の水面は、其の西方にある會津盆地に比べると、三百メートルも高いので、其の水が流れ出て、阿賀川の上流となつてゐる處で



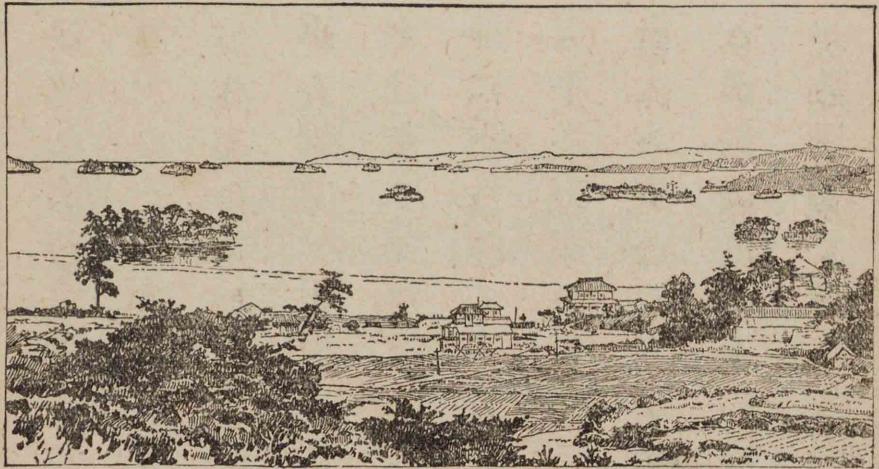
磐梯山と猪苗代湖

尋地一

海岸

は、流れが甚だ急なので、其の水力は發電に利用されてゐる。この電氣は附近の工場の動力にも用ひられてゐるが、多くは遠く東京に送られて、主に電車の動力や電燈に用ひられてゐる。又猪苗代湖の水は、疏水運河によつて東の方、阿武隈川沿岸の平地に送られて、灌漑にも用ひられてゐる。

太平洋方面の南部には仙臺灣があるが、海岸線の出入が少いので、良灣がない。この灣の一部分である松島灣には、青い松のしげつた大小數多の島々が散點してゐて、風景が甚だ美しい。



松島灣の一部分

仙臺灣から北の海岸線には小さな出入が多く、處々に良灣がある。けれども北上山脈がたゞちに海岸にせまつてゐて、灣岸の傾斜が急であるために、陸上の交通が不便である。又この山脈一帯の地方は、産業が十分に發達してゐない。それ故にこれ等の良灣も、漁

港としては利用されてゐるが、商港としてはまださほどに利用されてゐない。

日本海の海岸は、中央に男鹿半島や八郎潟があるけれども、一般に海岸線の出入が少く、又砂濱が長くつゞいてゐるので、良港がない。

北部には下北津輕の兩半島があつて、陸奥灣をはさんでゐる。陸奥灣の沿岸には、商港の青森や海軍要港の大湊がある。下北津輕の兩半島と北海道本島との間には、津輕海峡がある。この海峡は交通上大切な處である。

三 産業

この地方第一の産業は、やはり農業であるが、耕地が割合に少く、其の上この地方は、気温が一般に低いから、農産物の産額が少い。しかし山林・原野がこれに多いので、林業・牧畜は盛である。又鑛物が多いので、處々で之を採掘してゐる。

主な川々の沿岸の平地では、農業が盛である。主な農産物は、米・大豆・じゃがいもりんごで、其の産額の最も多いのは米である。米の主産地は最上川や雄物川の沿岸平地であつて、主な集散地は最上川の

農業・工業

専地一  
専地一

川口の沿岸の酒田である。りんごとじゃがいもの主産地は青森縣で、弘前はりんごの集散地である。

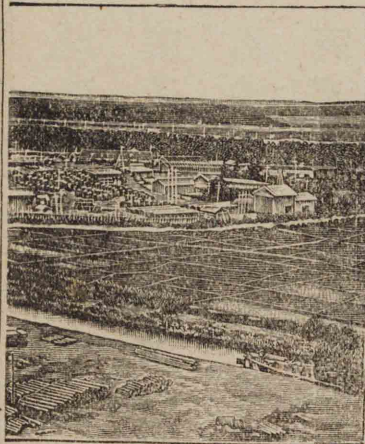
阿武隈川の流域や最上川上流の流域では、養蠶業が廣く行はれてゐて、製絲業・絹織物業もまた盛である。ことに阿武隈川の沿岸の福島や其の附近では、生絲や羽二重が多く出来る。又最上川上流の沿



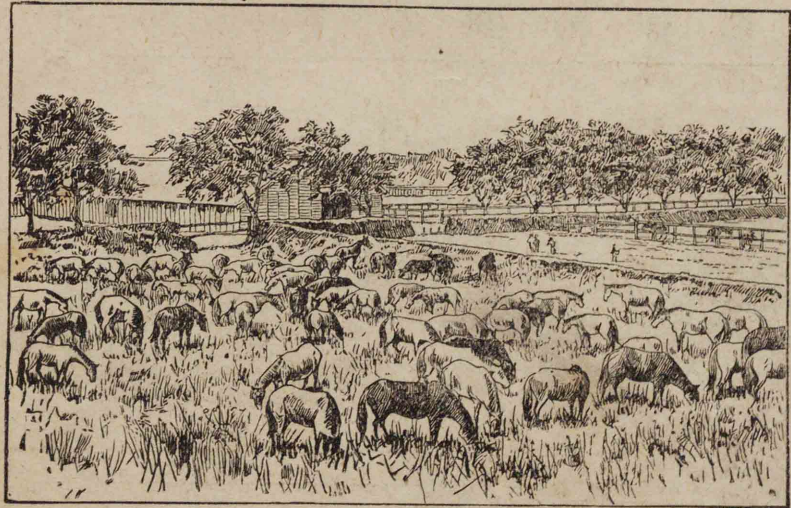
集採のんご

牧畜

岸にある米澤では、絹織物が多く出来る。太平洋方面には原野が多く、又雨量が少いので、牧畜が發達し、馬の牧畜が最も盛である。馬の頭數のことに多いのは、岩手、福島の二

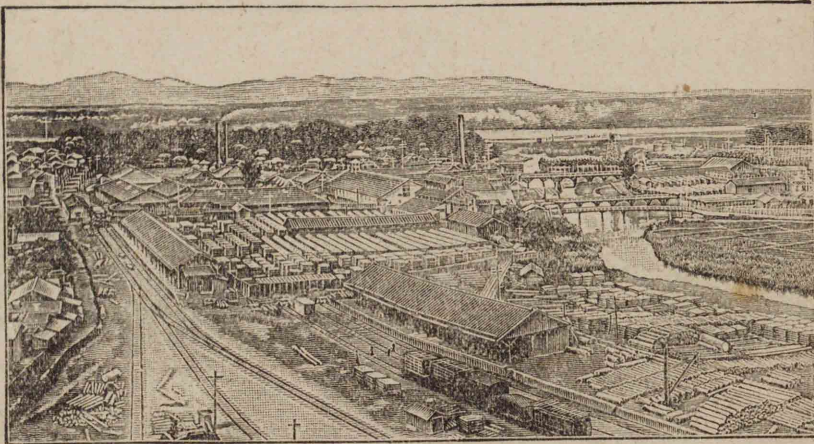


左の縣である。盛岡、白



白河附近の一牧場

林業



は、川や鐵道によつて、各地に送られる。したがつて

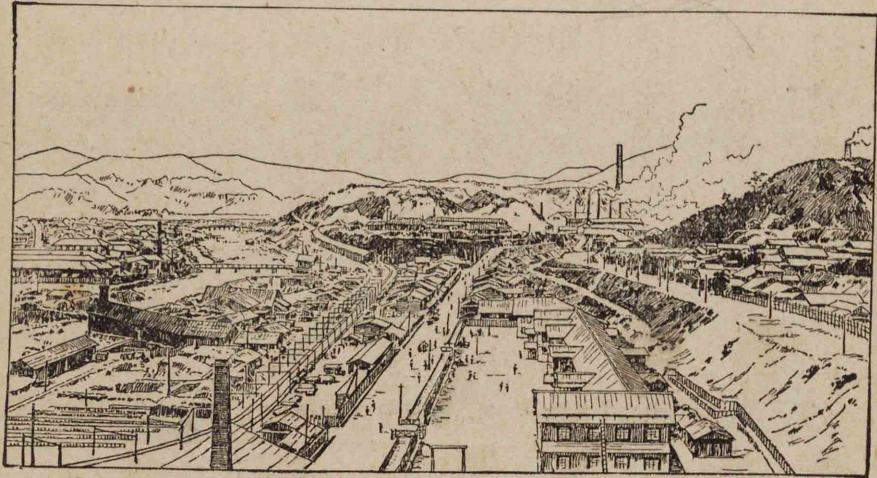
能代港に於ける製材所  
河には秋毎に馬の大市が開かれて、各地からたくさん馬が集まつて来る。日本海方面には山林が多く、ことに米代川の流域には、杉の大森林がある。こ

馬の産額比較

我が國の馬の頭數總計五百五十萬頭内外(大正九年)

九洲地方	奥羽地方	關東地方	北海道	其の他の地方
------	------	------	-----	--------

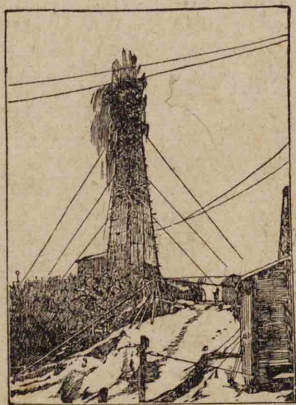
鑛業



この川の沿岸では、製材業が處々で行はれ、其の中で、米代川の川口に近い能代小港が、最も盛である。又青森坂縣のひばも木材として名鑛高い。

山米代川の流域と雄物川の流域には、銅銀を産する鑛山が多く、ことに小坂鑛山は我が國屈指の大鑛山で

ある。この外、釜石附近には鐵山があり、秋田附近には油田があり、平附近には炭田がある。釜石附近の鐵山は、我が内地で鐵鑛の産額の最も多い處で、其の鑛石は大てい釜石の製鍊所で製鍊される。秋田附近の油田は、原油の産額の多いことでは、新潟縣の油田と一二を争つてゐるもので、其の原油は、主に秋田・土崎港にある製油所で、石油に精製される。平附近の炭田は、常磐炭田の北の部分である。



井油の近附田秋 (るゐてし出噴が油原らか井油)



水産業

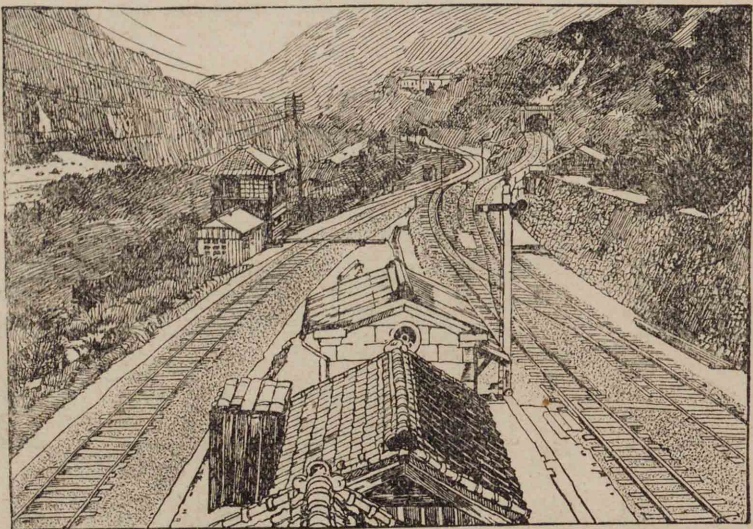
太平洋方面の近海・遠洋は、暖流の影響で、日本海方面の近海・遠洋よりも水産物が多く、又海岸は漁船の出入に便利であるから、漁業が割合に盛であつて、漁獲高が多いのは、いわし・かつを・鯨である。ことに鯨の漁獲高では、我が内地でこゝが第一である。この海岸地方では、かつをぶし・いわし・のしめ粕がたくさん出来る。

四 交通

陸上の交通

主な鐵道には南北に通ずるものと、東西に通ずるものがある。南北に通ずるものは太平洋方面にあ

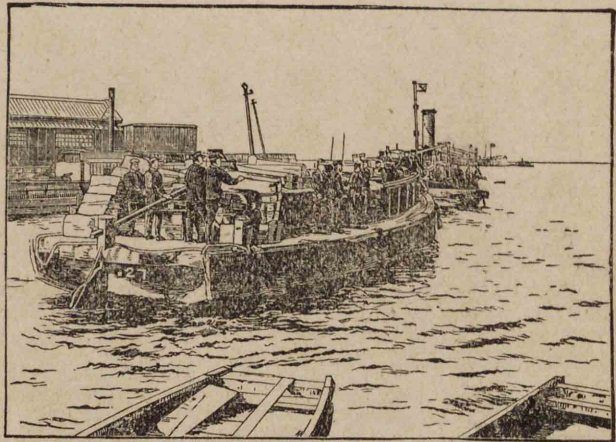
尋地一



奥羽山脈を横ぎる奥羽線の一分部

る東北線、日本海方面にある奥羽線・羽越線で、東北線・奥羽線はいづれもこの地方の主な川の沿岸平地をつたはつて、大きい町々の連絡を取つてゐる。羽越線は奥羽線と信越線との連絡を取るのである。

東北線は本州の鐵道の幹線の一部であつて、阿

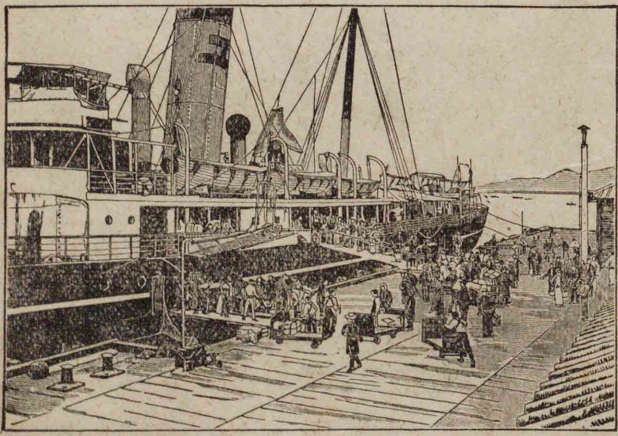


青森港と連絡船

武隈川の下流の流域で常磐線と出會ひ、奥羽地方第一の都會たる仙臺に至り、北上川にそつて進み、盛岡をへて、青森に至る。奥羽線は福島に起つて、奥羽山脈を横ぎり、最上川の沿岸の米澤・山形・雄物川の沿岸の秋田をへて、青森に達する。この線が奥羽山脈を横ぎる處では、線路にトンネルが多く、又傾斜が急である。

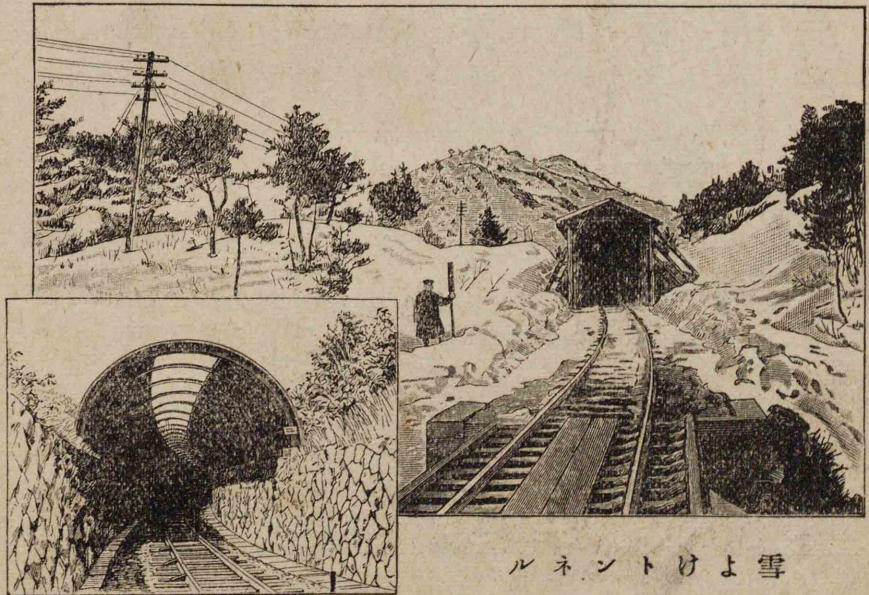
尋地一

東京から青森まで行くには、東北線によると約十七時間、奥羽線によると約二十時間を要する。青森と北海道本島の函館との間には、鐵道連絡船が往來して、東北・奥羽の兩線と北海道本島の鐵道との連絡を取つてゐる。この片道に要する時間は、六時間内外である。東西に通ずる主な鐵道は、平から若松をへて新潟に至るものと、石巻から酒田に至る



函館港と連絡船

ものである。いづれも奥羽山脈を横ぎつてゐるけれども、峠は割合に低く、長いトンネルも少い。奥羽地方は冬季、雪が深いので、鐵道には處々に「雪よけトンネル」を設けてあるが、それでもなほ積雪のために汽車の交通がしばくさまたげ



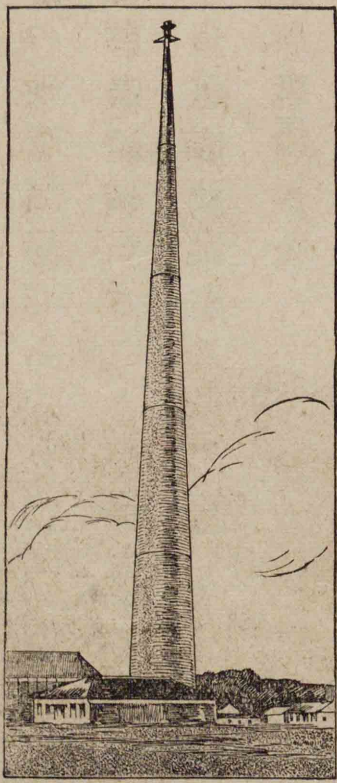
雪よけトンネル

海上の交通

られる。とりわけて日本海方面は、太平洋方面よりも雪が深いので、汽車の故障も多い。海上の交通は、良港が少いので、まだ不便をまぬかれない。ことに日本海方面の近海は、冬季、波風が荒く、雪が多いので、この季節には船の交通が一層不便である。

通信

太平洋方面の原町・富岡には我が國での最大の無線電信局があつて、遠くハワイ・アメリカ合



原町無線電信局

衆國とも直接に通信することが出来る。原町のは送信局で、富岡のは受信局であるが、富岡局では原町局の機械を自由に動かすことが出来るから、ここでは、ゐながら送信も出来るのである。

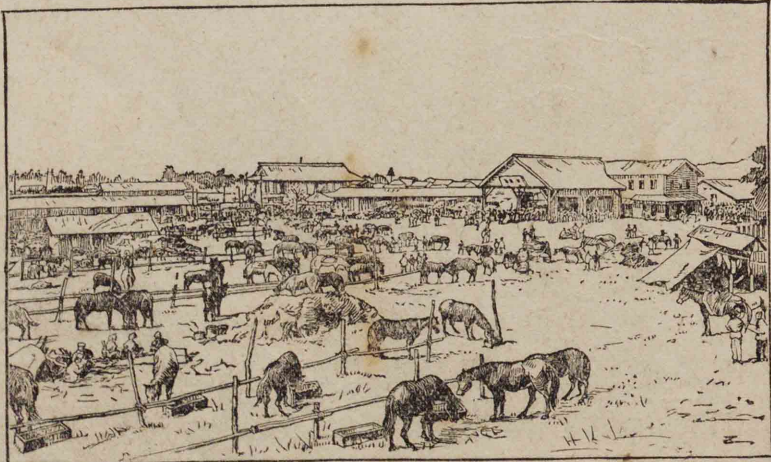
五 都邑

奥羽地方は、面積が大きい割合に、人口は多くない。しかし三列の山脈の間にある平地と、最上川雄物川の各下流の平地は、産業が発達し、交通が便利であるから、人口が密で、都邑が多い。東北線と奥羽線とはこれ等の都邑の多い處を通つてゐるのであ

尋地一

る。

東北線にそつてゐる都會では、福島・仙臺・盛岡・青森・奥羽線にそつてゐるものは、米澤・山形・秋田・弘前が主なものである。仙臺には東北帝國大學がある。又會津平野の若松もこの地方での屈指の都會である。これ等の都會の中で、福島・仙臺・盛岡・青森・秋田・山形は、い



盛岡の馬市

づれも縣廳の所在地である。

### 第四 中部地方

#### 一 區域

静岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣の區域を中部地方といふ。

#### 二 地勢・氣候

中部地方は本州の中で最も幅の廣い處であつて、飛驒・赤石の兩山脈をはじめ、南北に長い大山脈が幾つも相並んでゐる。これ等

地勢



中部地方の断面圖

尋地一

の山脈は我が内地の中で最も高く、てけはしい處で、中部地方の大分水嶺となつてゐる。



中部地方の地勢略圖



飛驒山脈の北部(遠い山は白馬岳)

これ等の大山脈の間には深い大きな谷があつて、それぞれに大きな川が出来、それ等が或は南の方、太平洋にはいり、或は北の方、日本海にはいる。これ等の川はいづれも我が國での屈指



鎗岳の雪と頂上

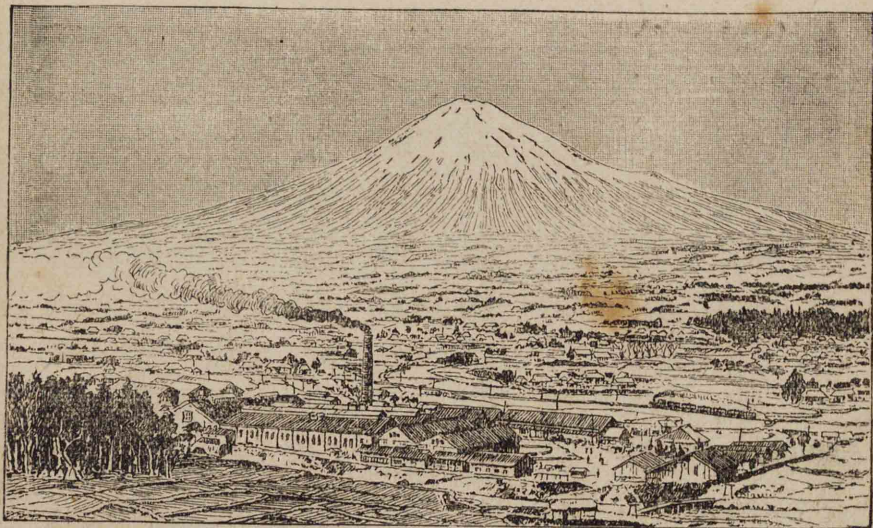
尋地一



右のつぎ

の大川であるが、其の流れが早いので、水運には便利でない。しかし灌漑・発電には利用され、又沿岸處々の平地には産業が発達し、都會も出来てゐる。ことに下流の海岸地方の平地は、面積が大きく、産業も発達し、交通も便利で、都邑の數も多い。

山脈  
飛驒山脈はこの地方の中央にあつて、鎗岳・白馬岳などの山々が其の中にそびえてゐる。又この山脈にそつて御岳火山脈が通つてゐるので、御岳・乗鞍岳等の高い火山が其の中にある。これ等の山々は、



富士山と大宮附近の第一製紙工場

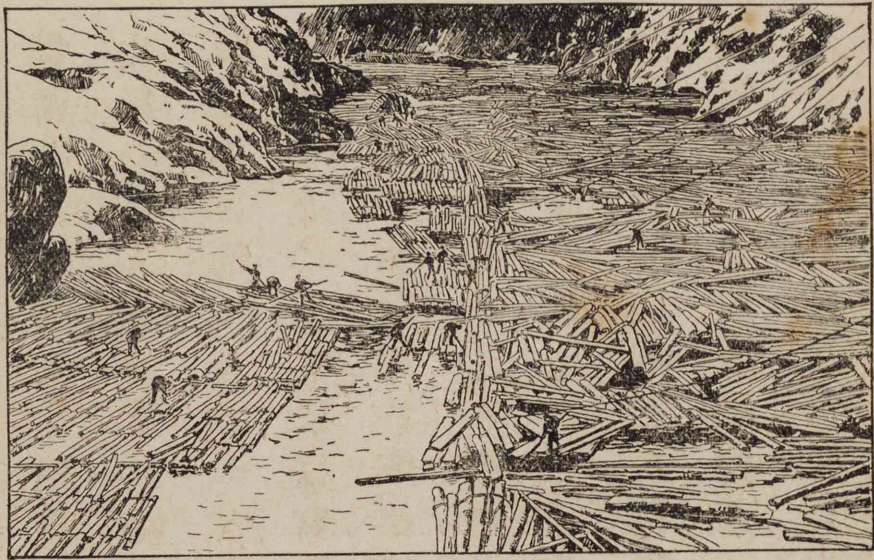
いづれも極めてけはし  
 くて高いから、其の景色  
 がいかにも雄大である。  
 山上には夏の眞さかり  
 でも、冬に積つた雪がと  
 けきらないで、いはゆる  
 雪谿をつくつてゐる處  
 もある。

飛驒山脈の西には飛驒  
 高地があり、東南には木

曾赤石の兩山脈が相並んでゐる。赤石山脈は飛驒  
 山脈におとらぬ高い山脈で、其の中の白根山は我  
 が内地では富士山に次ぐ高峯である。

中部地方の東部には富士火山脈が南北に通つて  
 ゐて、其の脈は南の方、伊豆七島をへて、遠く小笠原  
 諸島にも及んでゐる。この火山脈の主峯は即ち富  
 士山で、高さはおよそ三千八百メートル、四時雪を  
 いたゞいて駿河灣の沿岸にそびえてゐる美しい  
 姿は、まことに我が國第一の名山たるにはぢない。  
 なほこの地方には、東の境にあつてたえず煙を噴

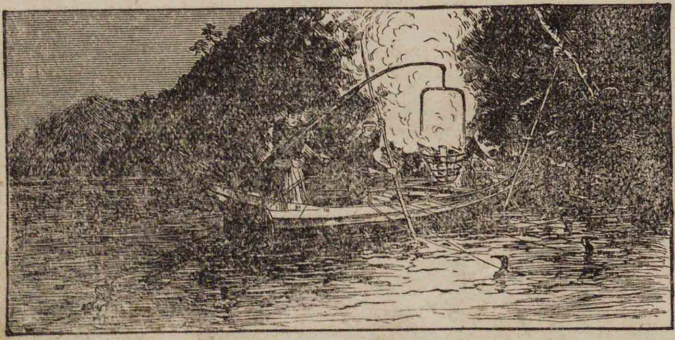
川平地



木曾川 天龍川 大井川 富士川 である。其の中、天龍川は太平洋方面の主な川は、  
 善寺が最も名高い。  
 る伊豆半島の熱海・修  
 も富士火山脈に當つて  
 には温泉地が多い。中  
 である。  
 高地の西にそびえてる  
 白山など、名高い火山  
 いてる浅間山や、飛驒

尋地一

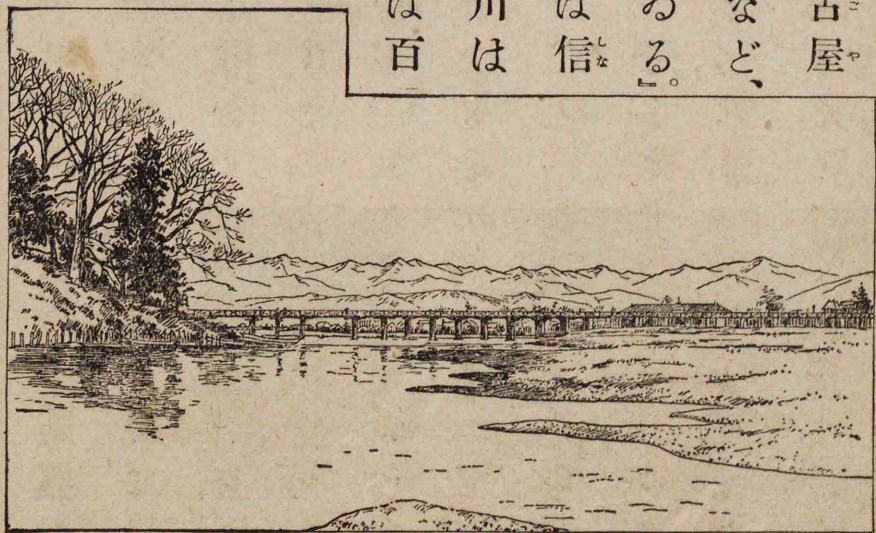
木曾川・天龍川・大井川・富士川である。其の中、天龍川は太平洋方面の主な川は、  
 はたゞちに太平洋にはいつてゐるが、富士川・大井川は駿河灣にはいり、木曾川は伊勢海にはいつてゐる。木曾川は筏流しが盛な川であつて、鵜飼で名高い長良川や其の他の川と共に、濃尾平野を灌漑してゐる。この平野は關東平野に次ぐ大平野で、農産物がたくさん出来るばかりでなく、交通も便利であるから、我が



飼鵜の川良長



國屈指の大都會たる名古屋を  
はじめ、岡崎・岐阜・大垣など、  
あまたの都會が出来てゐる。  
日本海方面の主な川には信  
濃川・神通川がある。信濃川は  
本州第一の大川で、長さは百  
里ばかりもあるが、船の  
通つてゐる處は川口か  
ら上、約二十里の間に過  
ぎない。しかし灌漑の便



神通川と富山

尋地一

海岸

は多いので、其の流域にある平地では、農業が廣く  
行はれ、ことに下流流域の越後平野で盛である。こ  
の平野は濃尾平野に次ぐ大平野で、農産物の産額  
が多く、交通も便利である。したがつて都邑も多い。  
太平洋の沿岸には、東に伊豆半島があつて、景色の  
よい駿河灣の東を限り、西に知多半島があつて、三  
河灣と伊勢海とをへだててゐる。駿河灣の沿岸に  
は清水港があり、伊勢海の沿岸には名古屋港があ  
る。いづれも産業の盛な地方にあつて、陸上の交通  
も便利であるから、船の出入もしげく、商業もはん

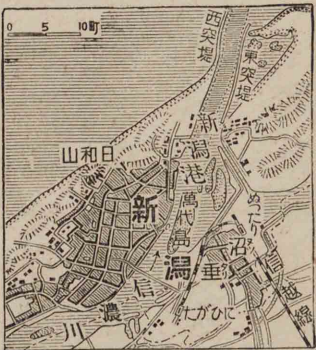
じやりしてゐる。

駿河灣と伊勢海との間は、濱名湖があるばかりで、海岸線の出入が甚だ少く、良港もない。

日本海の沿岸には西南部に若狭灣がある。この灣の沿岸には小さな灣が多くて、敦賀の良港がある。中央の部分には能登半島がつき出てゐて、其の東海岸に七尾港がある。この他の部分は、海岸線の出入が少い上に、砂濱が多いので、自然の良港にとほしい。新潟・伏木の兩港は、敦賀と共に日本海方面での重要な港ではあるが、いづれも海岸の港ではな

海地一

氣候

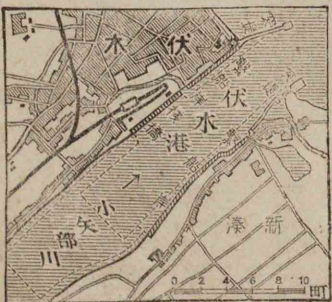


圖の港潟新

く、新潟港は信濃川の川口を利用したもので、伏木港も小さな川の川口を利用したものである。

中部地方には、太平洋方面も日本海方面も、近海に島が極めて少い。大きいのは日本の佐渡島だけである。

太平洋の沿岸地方は、地勢と暖流との影響で、日本海の沿岸地方に比べると、氣候が温和であつて、駿河灣の沿岸には保養に適する處



圖の港木伏



スキ一 (近附田高)

が少くない。

太平洋の沿岸地方は夏、雨量が多い。日本海の沿岸地方は冬、雨量が多くて、高田附近のやうに積雪十數尺に及ぶ處

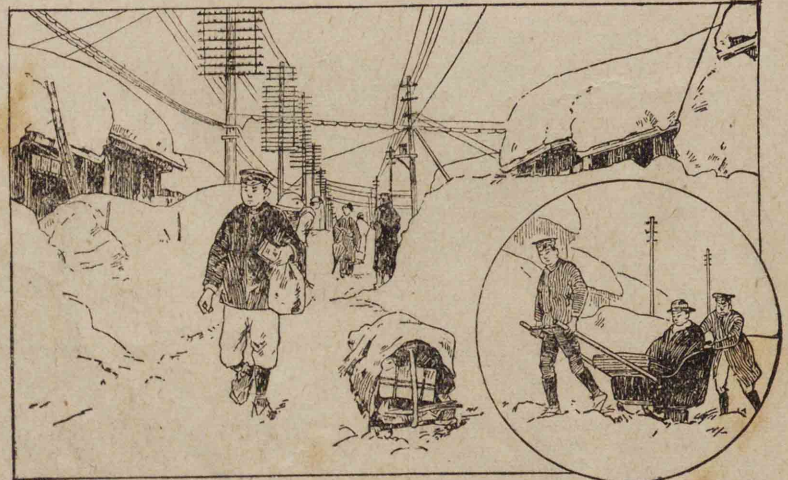
もある程であるから、冬季は交通にも産業にも不便が多い。

中央部は土地が高いだけに、海岸地方よりも冬の寒さが強く、諏訪湖では氷すべりが盛である。しかし夏は涼しくて、保養に適する處が多い。

尋地一

三 産業

中部地方の大きい川々の下流の流域や、其の他の海岸の地方に、色々な産業が盛なのは、いふまでもない。ことに太平洋の沿岸地方は、農業・工業・商業いづれも最も盛である。したがって大きい都會もこの沿岸地方に多い。中央部にも處々に小さな平地があつて、



高田の積雪とそり人カ

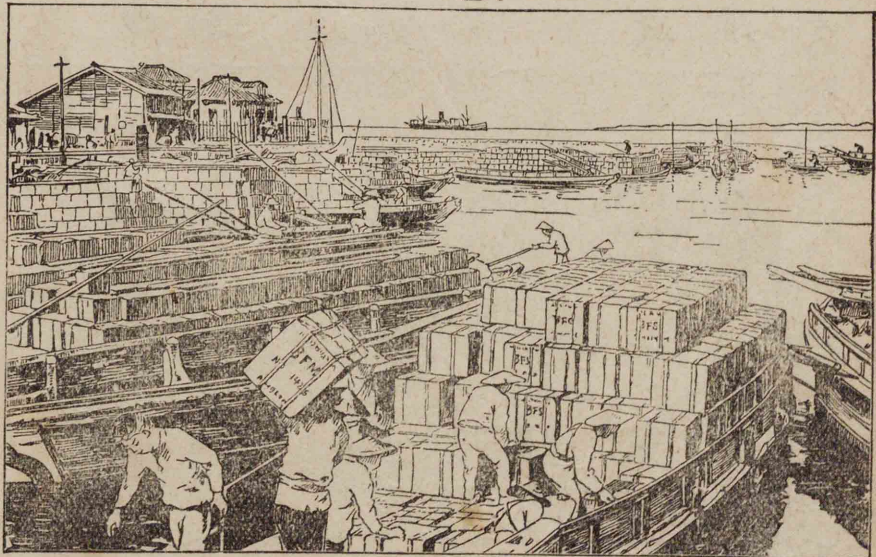
農業

茶の産額の比較

(年九正大) 圓萬百三千四約額産年の茶の國が我

静岡縣	中部地方	臺南地方	近畿地方	三都府	北九州	其の他	其の他
そこには農業	や工業が発達	してゐる。又山	地には林業の	盛な處もある。	濃尾平野と越	後平野とは、我	が國での米の

主な産地であつて、名古屋・新潟は米の主な集散



清水港における茶の積出し

専地一

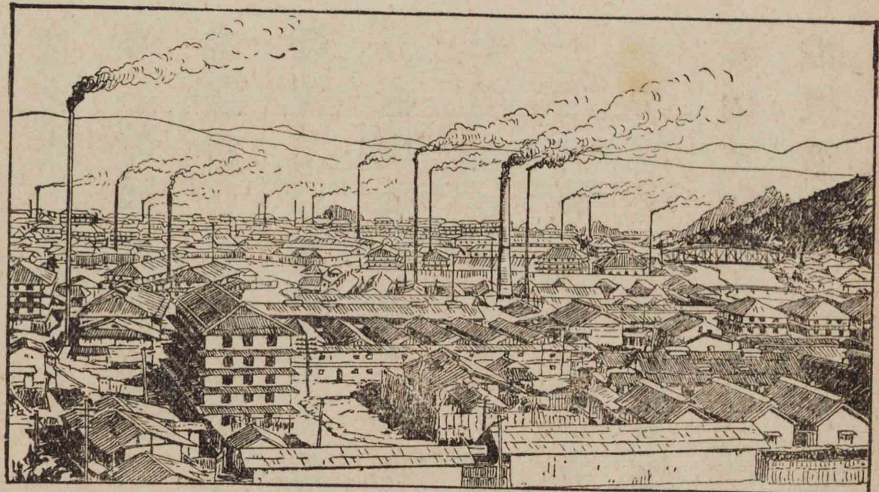
地となつてゐる。濃尾平野は麥・野菜などの産額も多い。静岡縣の海岸地方は、氣候・地味共に茶蜜柑かんの栽培に適して、其の産額が多く、静岡では茶の精製取引が盛である。製茶は清水港からアメリカ合衆國に輸出される高が多く、我が國での主な輸出品の一つに數へられてゐる。中部地方は養蠶業さんが一般に盛であつて、長野・愛知の二縣は、いづれも國內で繭まわの産額のこと多い處である。

繭の産額の比較

(年九正大) 石萬十五百五約額産年の繭の國が我

長野縣	愛知縣	其の他	其の他
中部地方	其の他	其の他	其の他

工業



岡谷の製絲工場

養蠶業が盛なにつれて、製絲業も一般に盛で、長野縣・愛知縣は、生絲の産額でも、はるかに他の府縣をしのいでゐること。長野縣の産額は、我が國總産額の約三割にも上る。同縣の諏訪湖沿岸の岡谷は、實に我が國製絲業の大中心地であつて、大小あまたの製絲

尋地一

生絲の産額の比較

(年九正大) 圓萬百五千八億五約額産年の絲生の國が我

縣野長	愛知縣	其の他の縣	群馬縣	其の他の府縣
中部地方	中部地方	中部地方	關東地方	其の他の地方

工場が立並んでゐて、繭を各地から集めて、盛に生絲を製し、之を内外各地に送り出す。横濱から輸出される生絲の大部分はこの地方で出来るのである。日本海の沿岸地方は、一般に絹織物業が發達してゐるが、中でも福井・金澤及び其の附近は、我が國での羽二重の主産地で、横濱から輸出される羽二重の大部分は、この地方で出来るのである。

絹織物の産額の比較

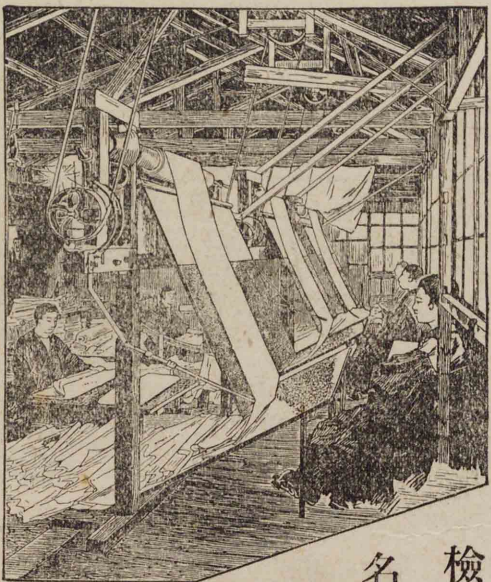
(年九正大) 圓萬百七千六億四約額産年の物織絹の國が我

縣井福	縣川石	其の他の縣	東京府	群馬縣	其の他の府縣	京都府
中部地方	中部地方	中部地方	關東地方	關東地方	關東地方	關東地方

が國での羽二重の主産地で、横濱から輸出される羽二重の大部分は、この地方で出来るのである。

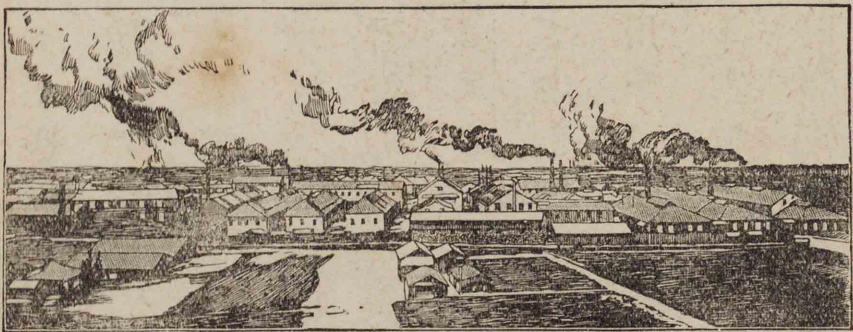
べて輸出向の生絲羽二重は、それぐの検査所で  
検査に合格したものでなければ、外國に出さない  
ことになつてゐる。ことに羽二重の検査は精細で

福井の輸出羽二重検査所  
(羽二重のきちのよしあしを検査してゐる處)



あつて、福井にある検査所で  
検査される高が最も多い。  
名古屋及び其の附近では、  
諸種の工業が盛であつ  
て、其の製産額の多いの  
は、綿絲・綿織物・時計・陶器  
である。陶器は瀬戸・多治

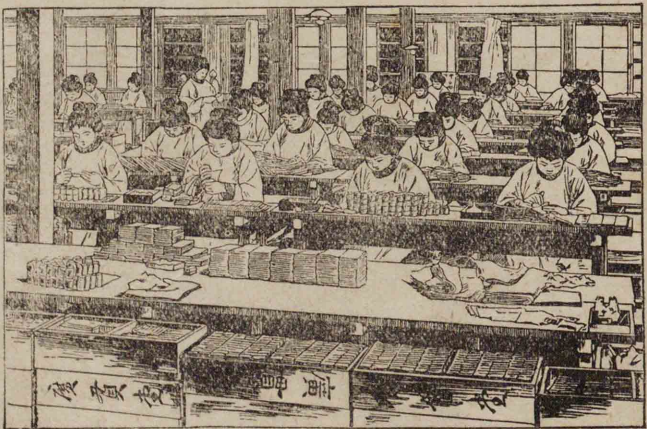
尋地一



見・金澤でも  
産する。

名 其の他、静岡  
古 屋 や輪島では  
の 漆器を製し、  
製 富山では賣  
陶 藥、濱松では  
工 綿織物・樂器  
場

を製してゐる。又富士山の裾野の  
大宮附近には、數多の製紙工場が

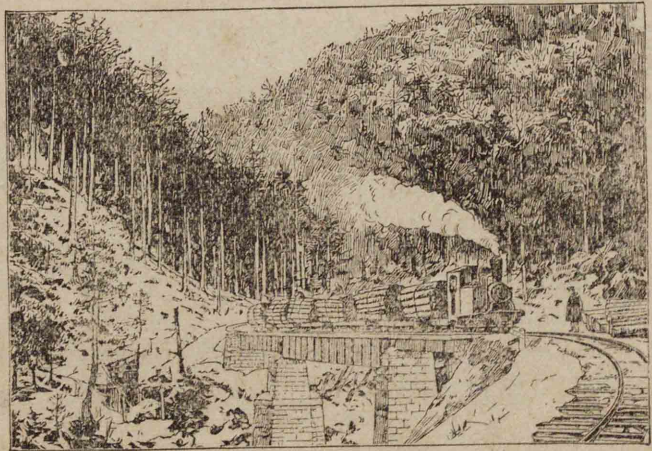


富士山に於ける製藥工場内の部

林業

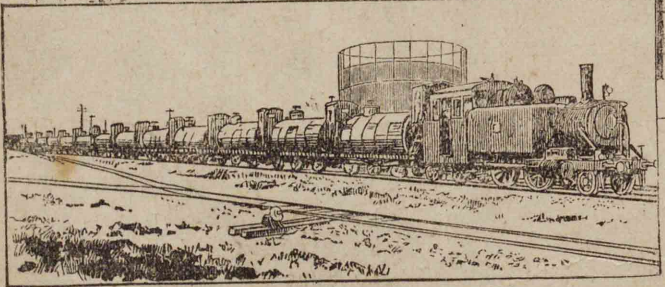
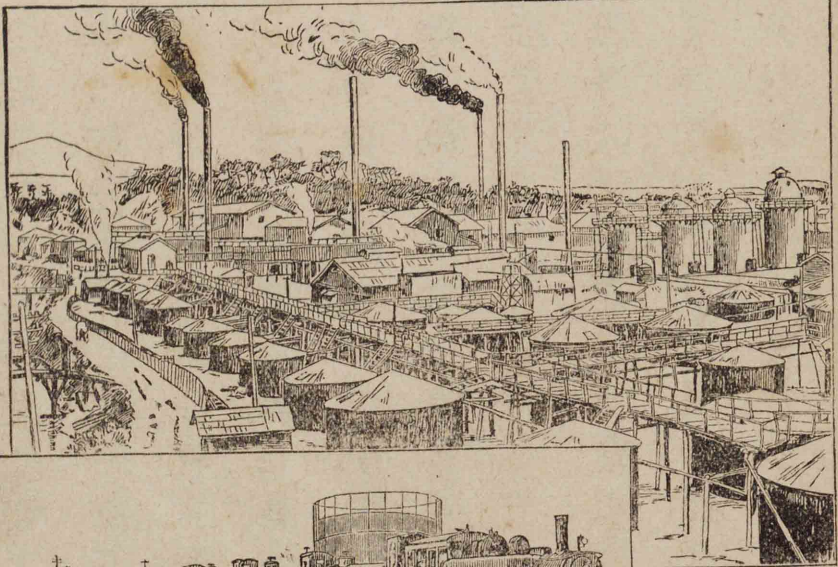
あつて、水力を利用して、パルプから多量に洋紙を製造する。

中部地方で最も名高い林業地は、木曾川の上流流域の木曾谷である。こゝにはひのき、さはらなどの良材が多いので、之を伐出して、鐵道や木曾川を利用して、各地に輸送する。木曾川を下つた木材は、多くは名古屋で集散される。



道鐵林森と林森の曾木

鑛業



車列ぶ運を油石(圖下) 所油製の崎柏(圖上)

信濃川の下流の附近は、秋田附近と共に我が國における原油の産地であつて、いたる處に油井の櫓が林のやうに立並んでゐる。こゝから出る原油は、主に柏崎新

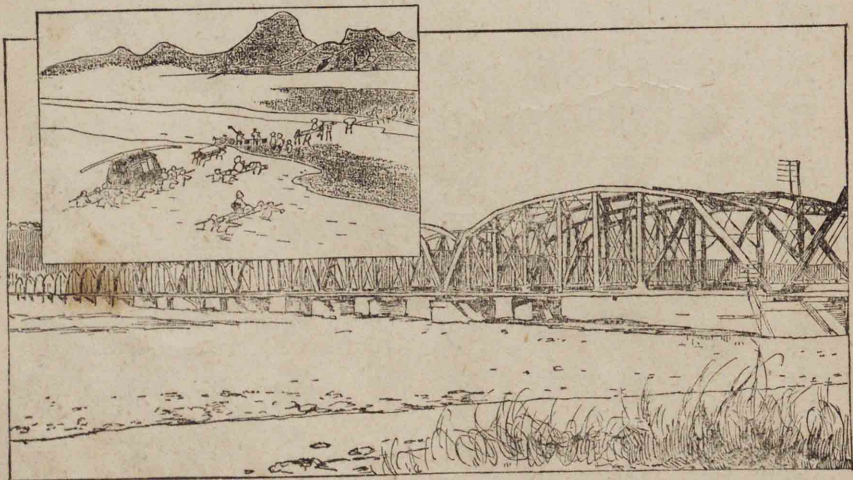
水産業

潟・新津にある製油所で、石油に精製される。新潟柏崎の各製油所は、我が國での最も大きい製油所で、秋田附近から出る原油をも製油の原料に使ふので、石油の産額も最も多い。  
 其の他の鑛産物の中、主なもの金鑛で、主として新潟縣の佐渡鑛山と、静岡縣の蓮臺寺鑛山とから産する。  
 近海には、漁業が一般に行はれ、ことに暖流が流れてゐる太平洋方面の近海では、かつをの漁獲が多い。静岡縣では多くかつをぶしを製造してゐる。

陸上の交通

四 交通

中部地方は高山や急流が多いにかゝらず、其の位置が近畿・關東兩地方の間にあるので、古くから重要な街道が通つてゐる。さうして鐵道もほゞ之にそつて敷かれ、太平洋の沿岸には東海道線があり、中央部には中央線や信越線があ



し渡の昔と橋鐵の今の川井犬



り、信越線の北の一部分は日本海の沿岸を通つてゐる。なほ日本海の沿岸には羽越線・北陸線が通つてゐて、羽越線は新津で、北陸線は直江津で、信越線と連絡してゐる。又北陸線は、米原で東海道線とも連絡してゐる。中央線や信越線には、大小あまたのトンネルがある。中でも中央線の笹子峠のは、我が國第一の長いトンネルである。

上にあげた諸線の中、東海道線は本州の鐵道の幹線であり、中央線は之に次いで大切な東西の交通線である。これ等兩線の連絡地點である名古屋は

海上の交通

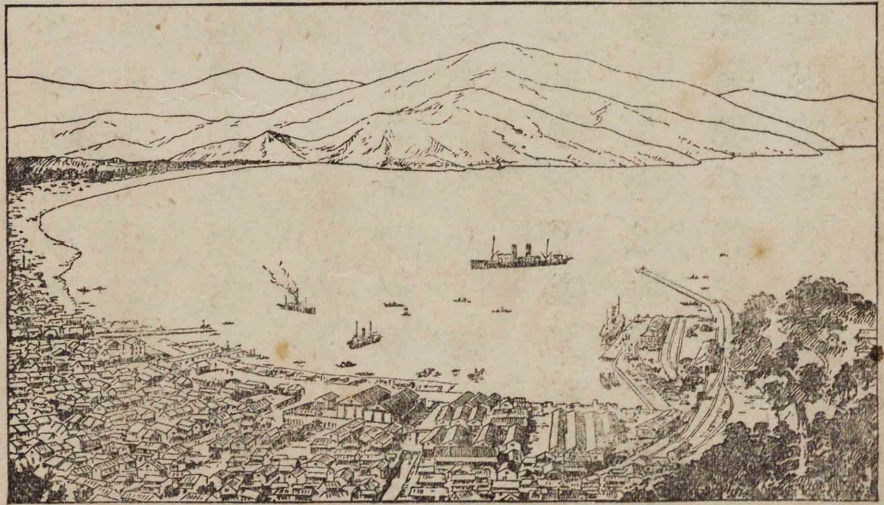
關西線の起點ともなつてゐる。關西線はこゝから西の方、奈良をへて大阪に至るものである。太平洋方面は産業が發達して居り、東西交通の要路に當つてゐるから、海運の便も大いに開けてゐる。清水・名古屋の二港には、外國航路の汽船も多く出入する。

日本海方面は良港が少く、太平洋方面ほど海運は便利でない。ことに冬季にあつては波風が荒く、雨雪が多いから、海上の交通は困難である。けれども敦賀とシベリヤのウラヂポストックとの間は、四時、

汽船が定期に往來して、我が國の鐵道とシベリヤの鐵道との連絡をとつてゐる。この航路は、およそ四百九十海里で、この片道に要する時間は、四十時間内外である。

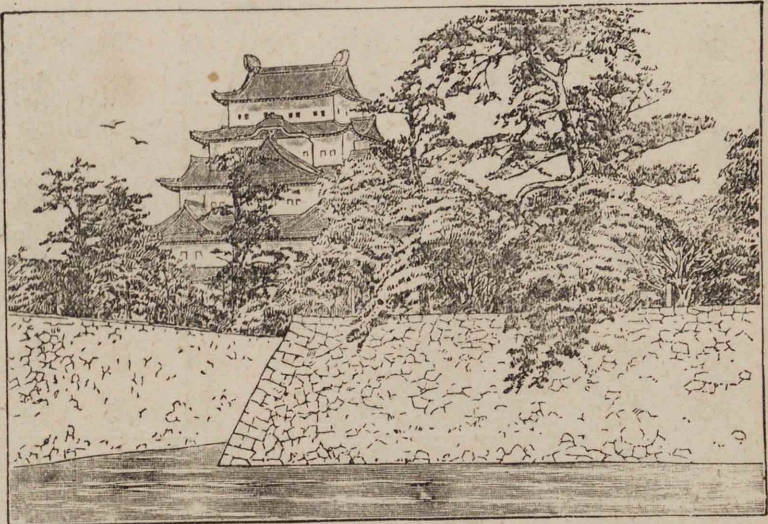
五 都邑

この地方で都邑の多い處は、産業が盛で、交通も便利



敦賀港

太平洋方面  
の都邑



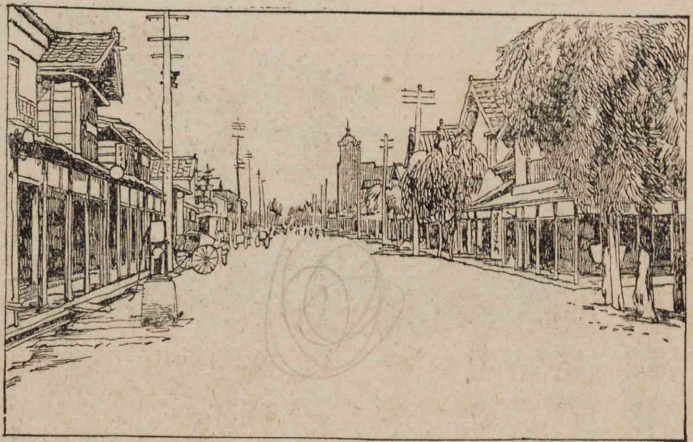
名古屋城

濃尾平野の南部、伊勢海の北岸にあつて、海陸交通

な海岸地方の諸平地と、中央部にある盆地とである。

ことに太平洋の沿岸地方には、縣廳の所在地たる静岡・名古屋・岐阜をはじめ、濱松・豊橋・岡崎・大垣など大きな都會が並んでゐる。中でも名古屋は

日本海方面  
の都邑



によつて、敦賀・伏木は海陸交通によつて、發達した處である。

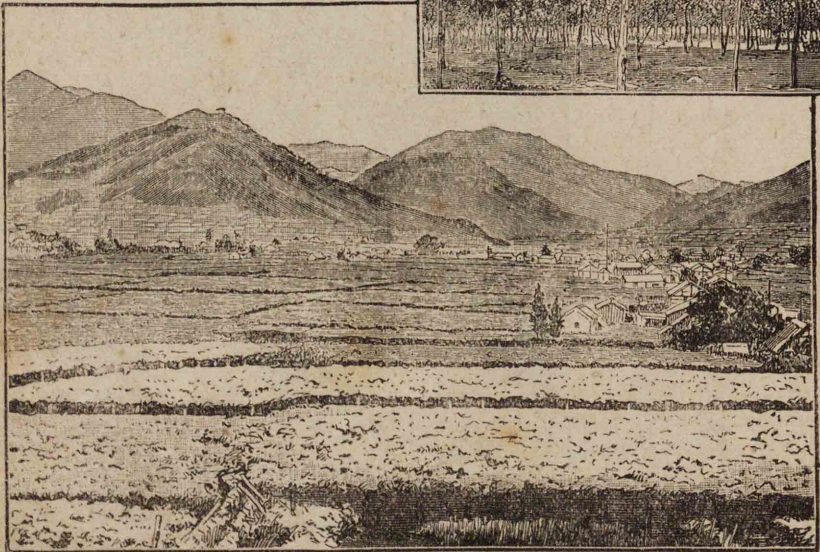
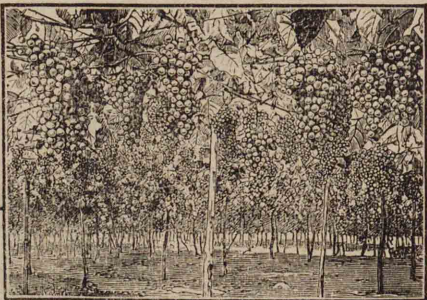
岡 長 戸 岡 市 街

の要路に當り、商業も工業も發達して、人口は六十萬餘、神戸と並んで大阪に次いでの大都會となつてゐる。

日本海の沿岸地方にある都會の中、新潟・富山・金澤・福井は縣廳の所在地で、商業・工業が盛である。長岡・柏崎は石油業

中央部の都  
邑

中央部の盆地にある主な都會は、縣廳の所在地たる長野甲府と松本とで、長野は善光寺があるので名高い處、松本・甲府は製絲業の盛な處である。又甲府の附近ではぶだうを産する。



ぶだう園 (甲府東・沼勝にあつて)

### 第五 近畿地方

#### 一 區域

京都・大阪の二府と  
滋賀・兵庫・奈良・和歌  
山・三重の五縣の區  
域を近畿地方とい  
ふ。

近畿地方の地勢略圖と断面圖



#### 二 地勢

近畿地方は西北部と南部とに山地が多く、其の間  
の中央部には平地が多い。

地勢略圖

#### 西北部

西北部の山地は中國山脈の東の部分であつて、と  
りわけ目だつ高い山も、大きい川もなく、大體が高  
原狀で、處々に小盆地がある。これ等の盆地は産業  
が發達してゐて、都邑も多い。

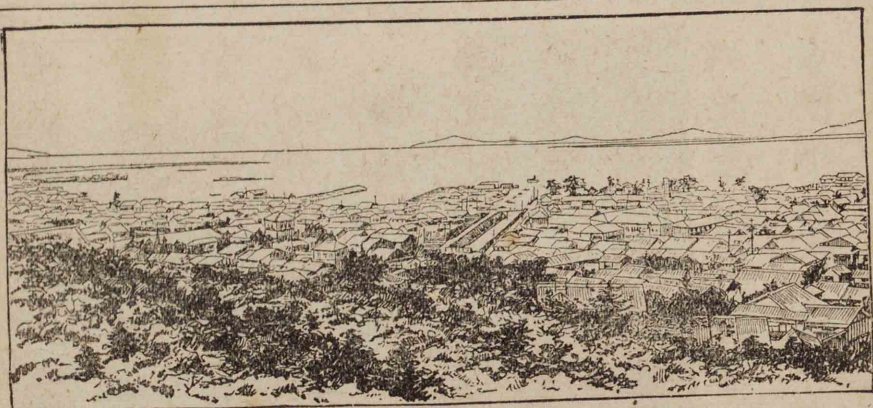
#### 南部

南部も大體高原狀であるが、幾つもの山脈があつて、  
西北部よりも山は高く、谷は深く、中でも東西に連  
なつてゐる紀伊山脈には、山上岳・大臺原山などの  
けはしい山がある。又この山脈には、金剛峯寺があ  
るので名高い高野山、史蹟と櫻とで名高い吉野山  
がある。又南の海岸の近くには那智瀧がある。

中央部

南部の川はおほむね紀伊山脈から出てゐて、其の主なものには南に流れる熊野川と、西に流れる紀の川とである。紀の川の沿岸には、一帯の平地があつて、この平地と海岸の地方は、産業が盛で、交通の便も開け、都邑も多い。其の他は大てい山地で、産業も進まず、交通も不便で、都邑も極めて少い。

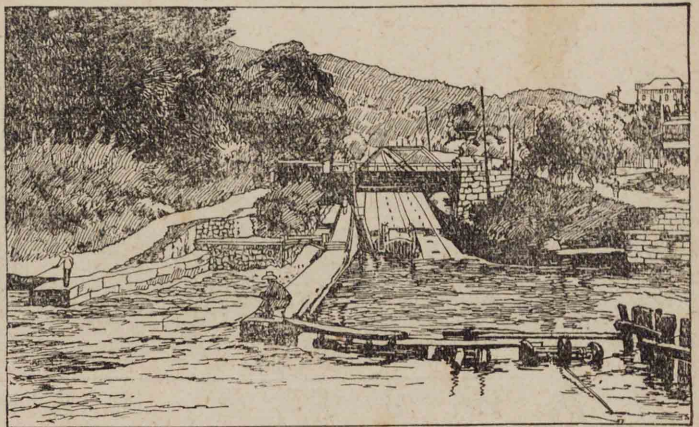
中央部には幾つもの低い山脈が、南北に連なつてゐて、其の中には金剛山・笠置山など、歴史に名高い山々がある。これ等の山脈の間には近江・京都・奈良・大阪・伊勢等の諸平野がある。其の中、近江・京都・奈良



琵琶湖と大津(疏水運河の口の附近)

の諸平野は、いづれも盆地になつてゐるが、大阪平野は大阪灣の沿岸にあり、伊勢平野は伊勢海の沿岸にある。

近江盆地には琵琶湖がある。我が國第一の大湖であつて、灌漑の便が多く、水産物も少くない。其の沿岸各地には、大津を起點として汽船が往來してゐる。又沿岸はいたる處、景色がよく、處



の疏水運河によつて、西方へ約三里の間、山地をくぐり、平地を通つて流れ、京都で賀茂川に合してゐる。

疏水運河の琵琶湖の西岸にある。この湖の水は、大津の東南から流れ出て淀川となり、西南の方、京都平野・大阪平野を過ぎて、大阪灣にはいつてゐる。又大津から起つてゐる二條

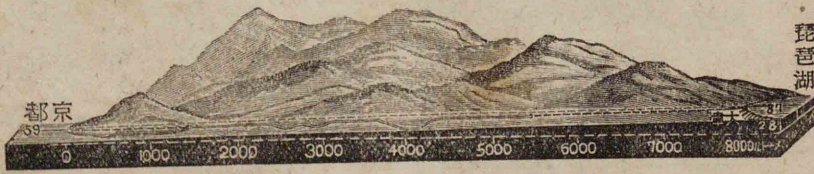
尋地一

海岸

る。この疏水運河も淀川も、灌漑・運輸・發電に利用され、又疏水運河の水は、京都で、淀川の水は大阪で、飲料水・用水として用ひられてゐる。

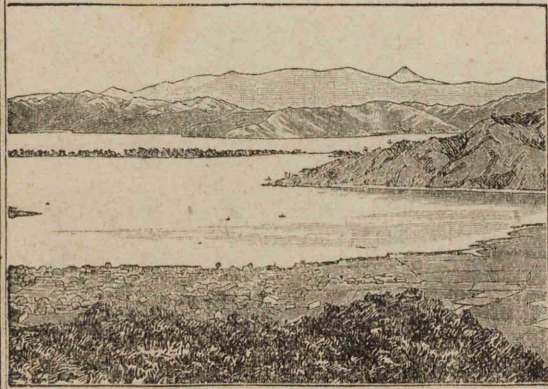
中央部の諸平野は、早くから開けて、産業も發達し、交通も便利で、京都・奈良・大阪・神戸をはじめ、都邑が甚だ多い。

日本海の沿岸には、小さな灣が多く、若狭灣内の舞鶴は、自然の良港で、海軍の要港となつてゐる。其の西にある宮津灣には、

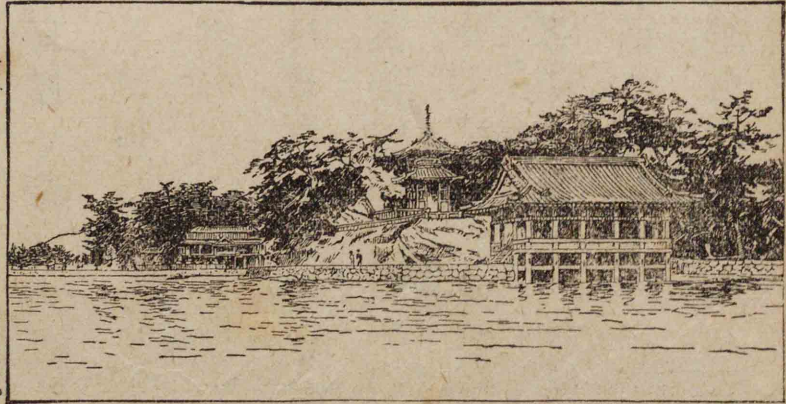


琵琶湖疏水運河の圖

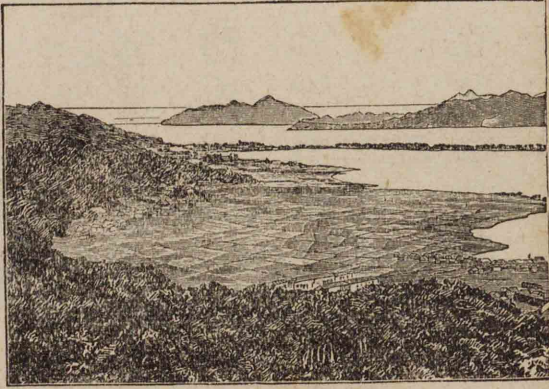
一條の砂洲が長くつき出でて、松の林が其の上をおほひ、風景が美しい。これがいはゆる天橋立である。



南部の海岸にも小さな湾が多く、主に漁港として利用されてゐる。紀淡海峡の近くには和



和歌浦



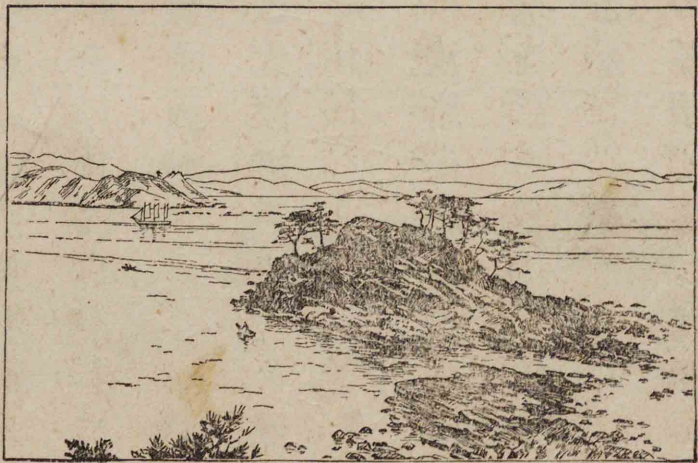
右のつどい 歌浦の勝地がある。中央部の東には伊勢海が入こんで、其の沿岸に四日市港があり、西には大阪湾が入こんで、其の沿岸に大阪神戸の二大商港がある。

大阪湾と播磨灘との間には、淡路島があつて、本州との間に明石・紀淡の兩海峡をはさみ、四國との間に鳴門海峡をはさんでゐる。明石・紀淡の兩海峡は、交通の要路であつて、船がた

えず往來してゐる。明石海峡の北岸は、松の立ちつゝいてゐる砂濱の景色が美しい。鳴門海峡は潮流があまり早いので、船の交通が容易でない。紀淡海峡と鳴門海峡とは、紀伊水道によつて外海と通じてゐる。

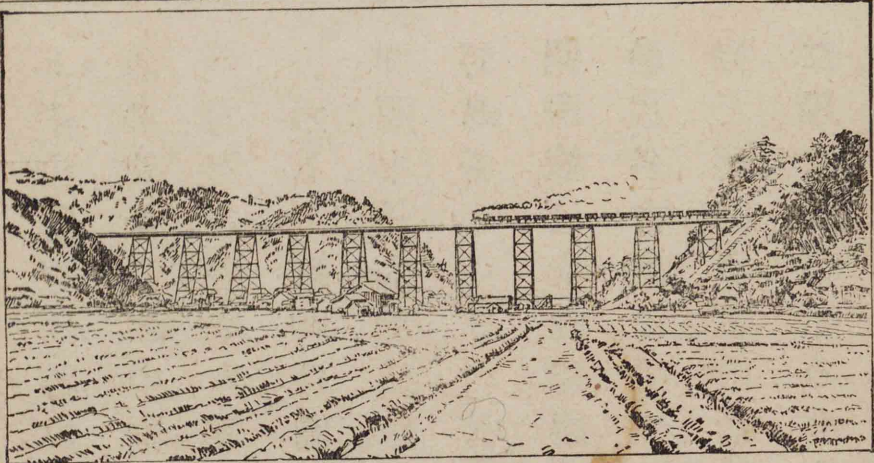
三 交通

近畿地方は關東地方と共に、我が國で最も交通の



四國の海岸から見た鳴門海峡

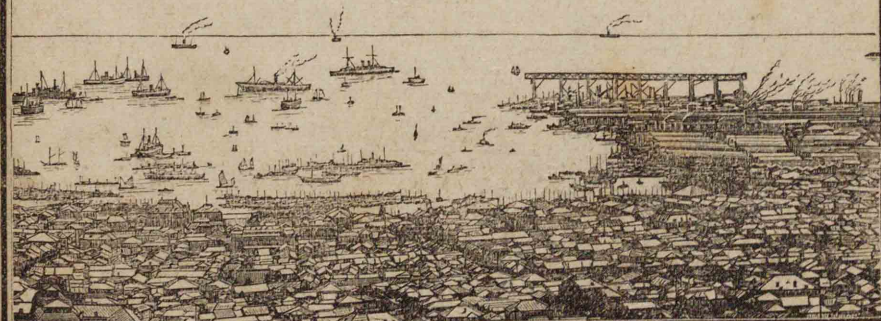
陸上の交通



發達してゐる處であつて、大阪・京都からは、鐵道が四方に山通じ、神戸・大阪からは航路が内外の諸港に達してゐる。の鐵道には本州の幹線たる東海道線・山陽線をはじめ、關西(部餘)橋架高の線山陰線・北陸線等がある。東海道線は中央部の近江・京都・大阪の諸平野を通り、神戸に至つて、山陽線に接續して



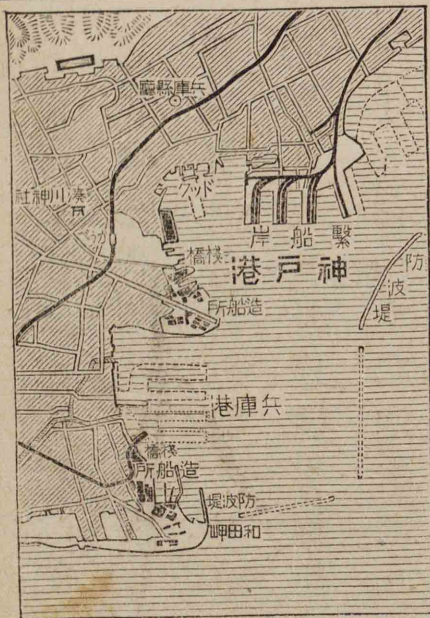
る。山陽線は神戸から西の方、姫路を過ぎ、中國地方の瀬戸内海の沿岸を通つて下關に至る。東京・神戸間も、神戸・下關間も各約十二時間の行程である。  
關西線は大阪に起り、奈良を過ぎ、名古屋に至つて、東海道線と連絡する。山陰線は京都に起り、西北部の山地をへて、



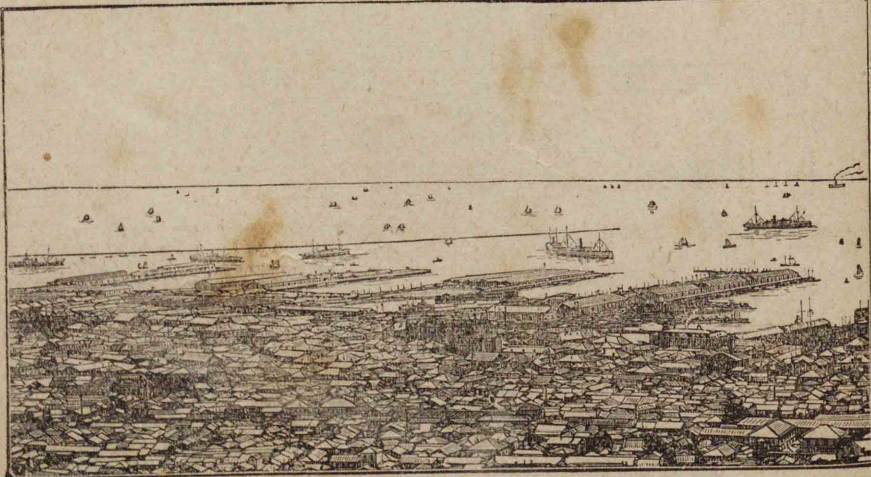
神戸港

尋地一

中國地方の日本海沿岸を通つてゐる。北陸線は米原で東海道線と連絡する。  
京都・大阪間、大阪・神戸間、大阪・奈良間は、汽車の外、電車もひ



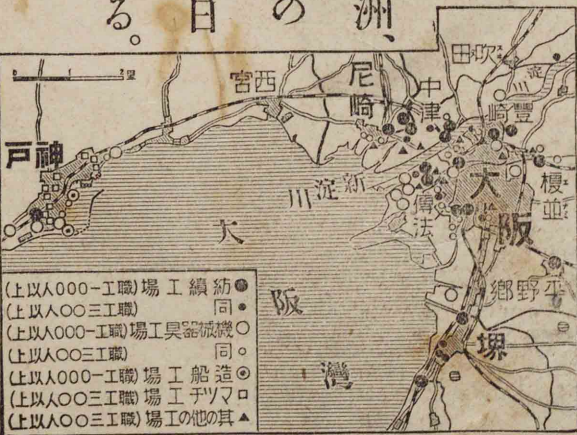
神戸港の圖



右のつど

海上の交通

んばんに往來し、交通が至つて便利である。  
この地方の諸港の中、神戸・大阪の二港は、内には瀬  
戸内海、其の他、近海の航路の  
起點となり、外には支那・印度・  
ヨーロッパ、南北兩アメリカ洲、  
オーストラリア等、世界各地の  
港と航路が相通じてゐる。四日  
市港も外國航路に當つてゐる。



大阪湾沿岸の大きな工場分布

工業

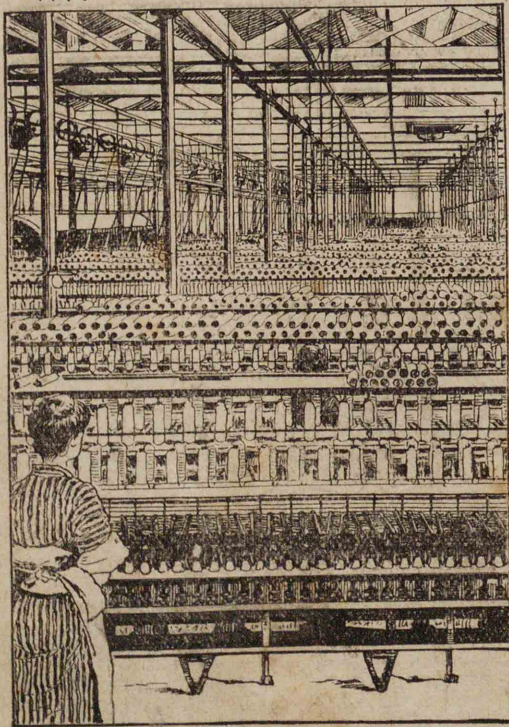
中央部の諸平野では、工業が大いに發達してゐる。

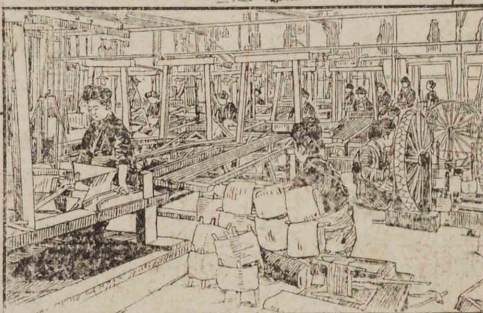
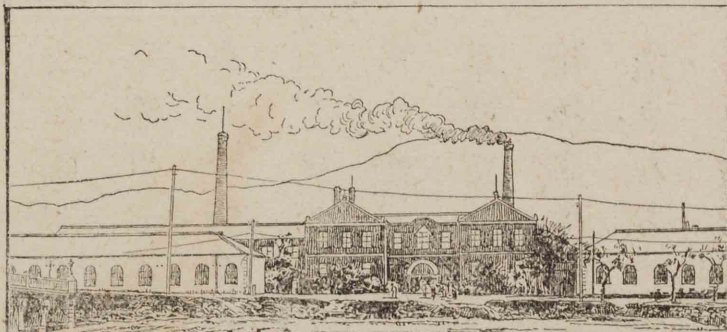
#### 四 産業

ことに大阪湾沿岸の地方は、我が國の一大工業地區であつて、神戸・<sup>あまがさき</sup>尼崎・<sup>さかひ</sup>大阪・堺等の工業市が相接してゐる。中でも大阪は、い



大阪市内の工場 (圖上) 大阪に紡績工場内の部 (圖下)





織物をはじめ、マツチ・肥料・毛織物・薬品・機械であつ

地方での主な工業品は、綿絲・綿

たる處に大  
きい工場が  
あつて、煙突  
が林のやう  
に立並び、煤  
煙が空にみ  
なぎつてゐ  
る。この沿岸

較比の額産の絲綿

(年九正大) 圓萬百五千七億六約額産年の絲綿の國が我

大阪府	兵庫縣	其の他 の府縣	其の他 の府縣
近畿	地方	其の他	地方

て、いづれも他の地方で見ることの出來ない莫大

な産額があり、海外にも多

く輸出される。し

たがつて大阪・神

戸では、商業も極

めて盛である。又

京都では西陣織

染物・陶器等が製

造される。いづれ

も品質が優れて

較比の額産の物織綿

(年九正大) 圓萬百七千六億四約額産年の物織綿の國が我

大阪府	和歌山縣	其の他 の府縣	愛知縣	其の他 の府縣	其の他 の府縣
近畿	地方	其の他	地方	中部	地方

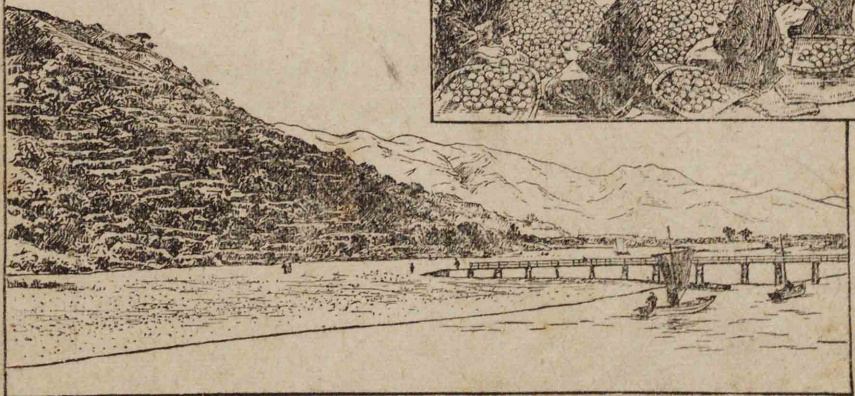
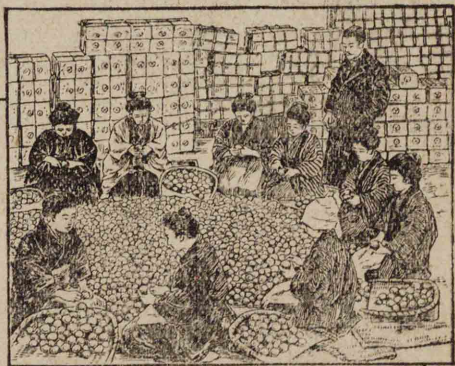


場しらさの綿木白るけおに流下の川の紀

農業・林業

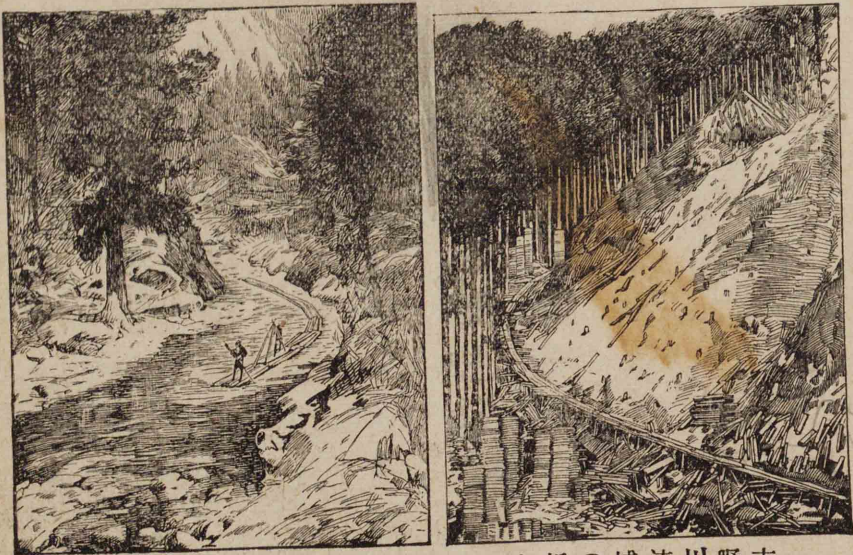
るるので名高い。又四日市・津和歌山では、多く綿絲・綿織物を製し、黒江では漆器を製する。

中央部の諸平野では米・麥・菜種などがたくさん取れる。又紀伊水道の沿岸地方では、いたる處で蜜柑を産する。中でも最



けわりよの柑蜜と畑柑蜜の岸沿川田有

尋地一



し流筏の川野吉

木採の域流川野吉

も名高い産地は、有田川の沿岸である。この蜜柑は、内地の各地ばかりでなく、朝鮮・滿洲等にも多く送られる。

南部は氣候が暖かて、雨が多いから、樹木がよくそだつ。ことに紀の川・熊野川の流域は、杉の造林が盛で、あまたの良材を

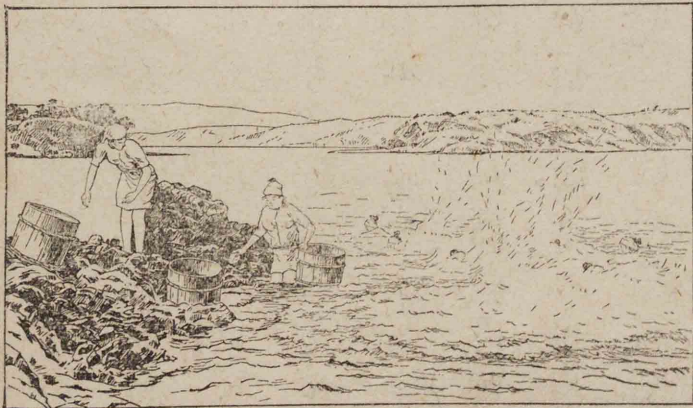
水産業

鑛業

産し、熊野川流域のものは、主として川によつて、新宮に送られ、紀の川流域のものは、川又は鐵道によつて、各地に送られる。

紀伊半島の近海は、暖流が流れてゐて、魚類が多いので、水産業が盛である。又志摩半島の沿海では眞珠を養殖し、赤穂では塩を製してゐる。

鑛山で名高いのは生野鑛山で、こゝからは銅銀が出る。



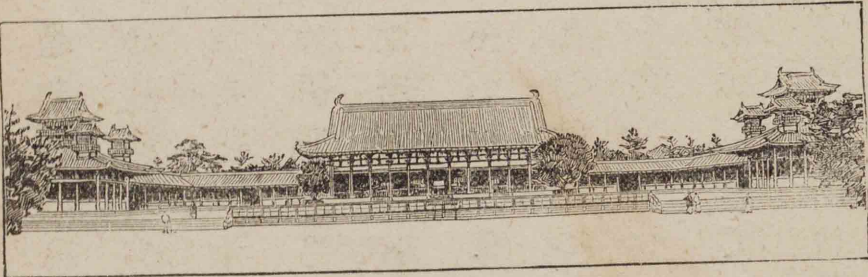
(志摩半島) 眞珠採取

五 都邑

中央部の諸平野は、神武天皇以來、御歴代の皇居のあつた處だけに、名所平舊蹟が多く、又土地もよく開けて、我が國で人口の最も密な處である。こゝ神とに大阪灣沿岸の工業地區には、幾宮つもの大きい都會が相連なつてゐる。

京都は京都平野の北部にあつて、大阪との間は汽車で約一時間、東京と

京都



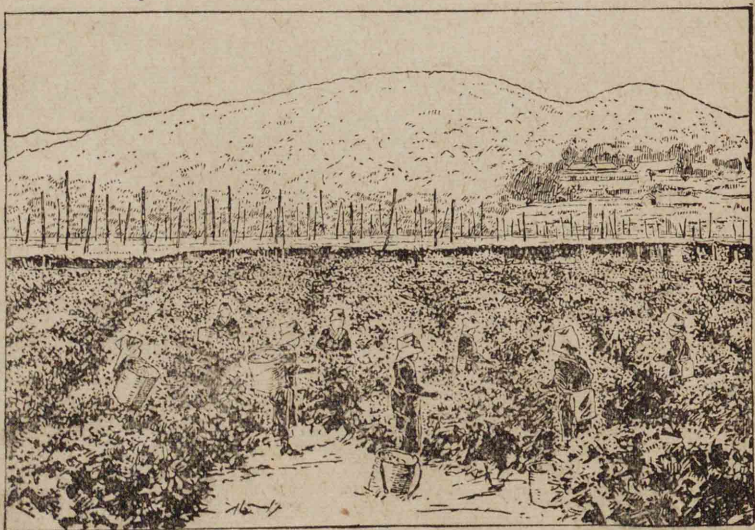
の間は汽車で約十時間の行程である。淀川の支流の賀茂川が、市内を北から南に貫いて流れてゐる。人口は六十萬餘。桓武天皇以來の帝都で、こゝには京都御所・二條離宮がある。其の外、平安神宮、北野神社、知恩院本願寺をはじめ、社寺や名所、舊蹟が甚だ多い。又京都帝國大學、及び其の他、各種の學校、博物館等があつて、我が國での學術上の一中心地となつて居り、美術工藝品の製作では、古來、國內第一と稱せられてゐる。

京都の南の桃山には明治天皇、昭憲皇太后の御陵

奈良

がある。桃山の附近は名高い宇治茶の産地である。

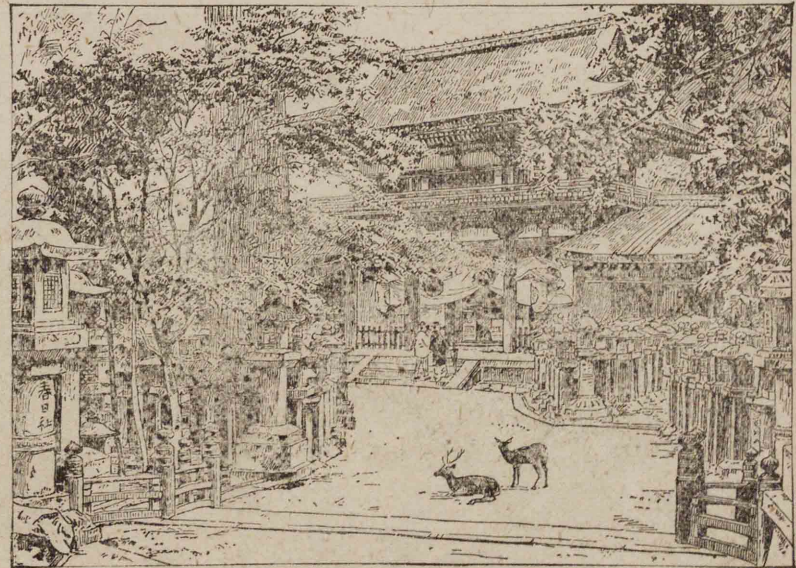
奈良は奈良時代七十餘年の間、帝都であつた處で、奈良平野の中心都會となつてゐる。正倉院、春日神社、東大寺をはじめ、奈良時代の遺物、遺蹟が甚だ多い。奈良の西南には法隆寺、南には神武天皇



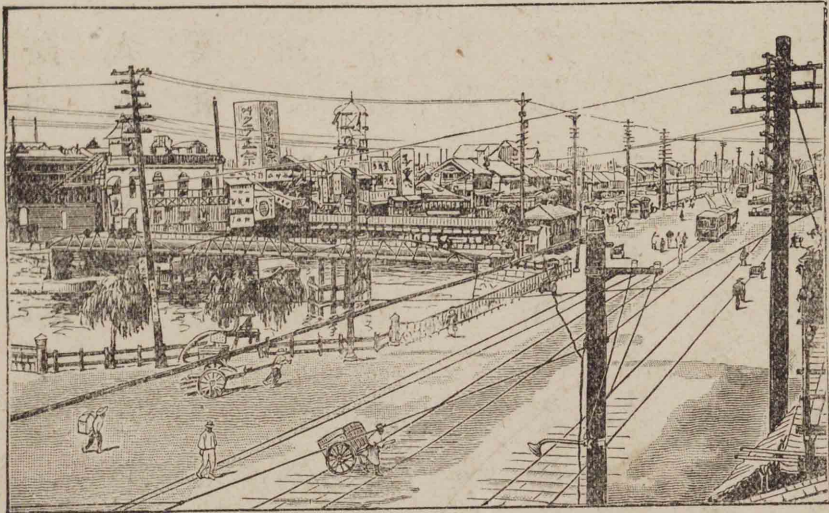
宇治茶の摘み

大阪

陵かしはら 檀原神宮がある。  
大阪は人口が百二十餘  
萬、東京に次いでの大都會で、近畿地方以西における商業の中心地であり、我が國第一の工業地である。淀川の下流及び之から分れてゐる疏水運河が、市内を縦横に通じて、水運が便利であるから、水の都ともいはれて

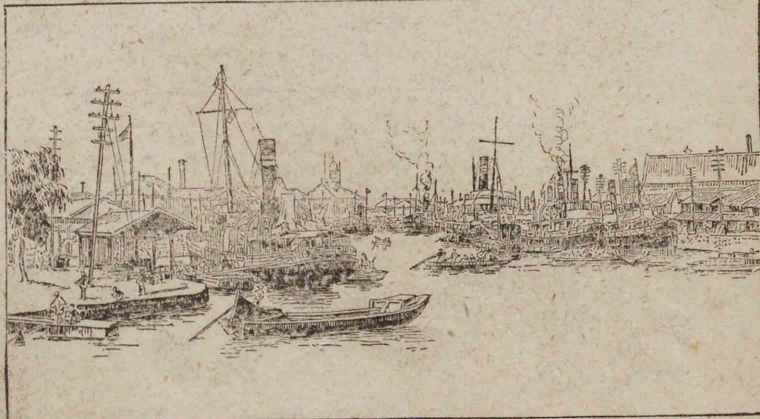


春日神社



大阪市の街(四つ橋附近)

大阪の港は、大阪湾の一部分に淀川の下流を合せたもので、設備

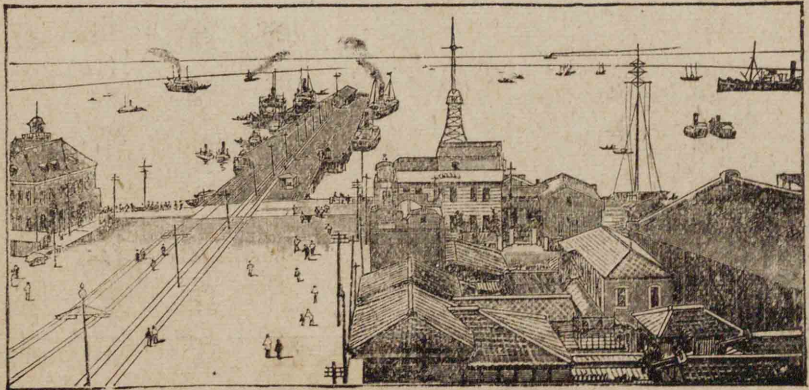


淀川の下流

備

神戸

がよくと、のひ、大きい汽船も自由に入出入することが出来、交通も貿易も年と共に發達する。神戸は人口が六十萬餘、横濱と並び稱せられる大開港場で、港の設備もよくと、のつて居り、出入する船の數は横濱よりも多い。貿易は横濱の場合と反對に、輸入が主で、其の額は、年々我が國總輸入額のおよそ五割を占めてゐる。輸入



大阪港の棧橋

尋地一

其の他

品の主なものは工業原料の繰綿鐵で、繰綿はアメリカ合衆國、印度から、鐵はイギリス、支那から來るものが多い。輸出品の主なものは綿織物、綿絲、銅で、いづれも多くは支那に送られる。神戸は工業も盛んで、造船所をはじめ、色々な大きい工場がある。津、大津、和歌山は縣廳の所在地で、それら其の縣内の中心地になつてゐる。宇治、山田は神宮のおはしますので發達した處である。姫路は播磨灘沿岸の平地の中心地で、交通上の要地である。



### 第六 中國地方

#### 一 區域

岡山・廣島・山口・島根・鳥取の五縣の區域を中國地方といふ。

#### 二 地勢

中國地方は、中國山脈が其の大部分を占めてゐる。この山脈の分水嶺は東西に連なつて、北にかたよつてゐるので、日本海方面は

分水嶺



地形一

瀬戸内海方面

瀬戸内海方面に比べて土地がよほど狭い。其の上、日本海方面は大山を主峯とする火山脈が通つてゐるので、地勢がけはしい。一般に土地がさほど高くはないけれども、いたる處に山があるので、平地は少い。瀬戸内海方面には旭川・大田川などがあつて、其の下流の地方に小平地が開けてゐる。この方面の海岸は、いたる處に



山大た見らか岸海の子米

日本海方面

良灣があり、近海にはたくさん島があつて、いづれも港に利用され、海上も波が静かであるから、船の交通が甚だ便利である。港の主なものには下關、廣島の宇品、吳、絲崎、尾道である。又この海岸地方は、北に中國山脈を負つてゐるから、氣候が温和である。したがつて産業も發達してゐる。

日本海方面では江川の外、川はいづれも短く、又一般に沿岸の平地が少い。海岸は、中央に島根半島、夜見濱半島がつき出て、中海や宍道湖をかこみ、夜見濱の先端には境港がある。この外には、港灣が甚だ

少く、島も隱岐があるだけである。このやうな地勢である上に、冬季、雨雪が多く、波風も荒いので、海上の交通は不便をまぬかれない。したがつて瀬戸内海方面に比べると、産業も進まず、都邑も少い。

三 産業

日本海方面では、農業、牧畜が産業の主なものである。瀬戸内海方面では、農業、牧畜共に日本海方面よりも盛であつて、商業、工業も主な産業となつてゐる。

農業、牧畜

農産物の中では米が最も主なもの、多く瀬戸内

工業・鑛業

海方面に産する。牧畜は牛の牧畜が主で、ことに盛な處は、廣島・岡山の二縣である。

牛の頭數の比較

我が國の牛の頭數二百九十九萬頭内外(大正九年)

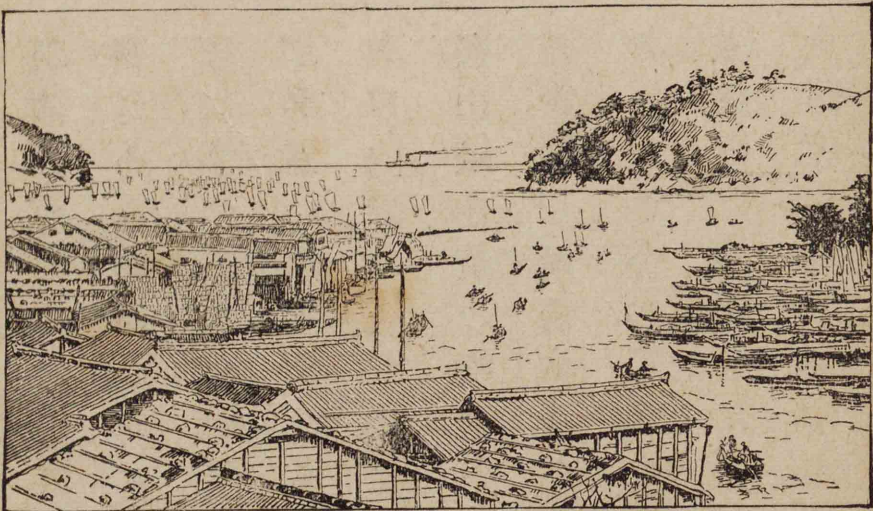
朝鮮地方	九州地方	中國地方	近畿地方	其の他の地方
------	------	------	------	--------



牛の牧場(廣島縣にあり)

岡山・福山など、瀬戸内海沿岸の各地では、工業が次第に發達して、綿絲・綿織物・疊表・花むしろ等を多く産する。鑛産物には山口縣の石炭、岡山縣の銅、及び各地の

水産業



隱岐のいか釣り船

花崗岩がある。海岸地方には、漁業に従事する者が多く、中には朝鮮近海に出漁する者も少くない。水産物の中、



岡山附近における花むしろの製造

産額の多いのは山口縣の鯛である。島根縣のするめ、廣島縣のかきも、中國地方で名高い水産物である。瀬戸内海の沿岸は、北の中國山脈と南の四國山脈との影響で、雨量が少く、晴天の日が多いから、砂濱は處處、塩田に利用されてゐる。塩田の多いのは三田尻の附近、兒島半島であつて、いづれも我が國での主



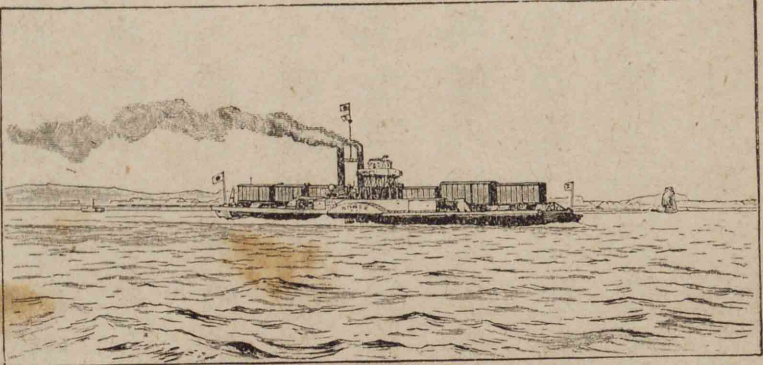
廣島灣のきかの養殖

な製塩業地となつてゐる。

#### 四 交通附瀬戸内海の交通

瀬戸内海の沿岸には、本州の鐵道の幹線の一部である山陽線が、岡山・廣島をはじめ、この方面の主な都會を通つて、東西に走つてゐる。其の西端に當る下關と、下關海峡をへだてて相對してゐる九州の門司との間には、鐵道連絡船がしげく往來して、山陽線と九州の幹

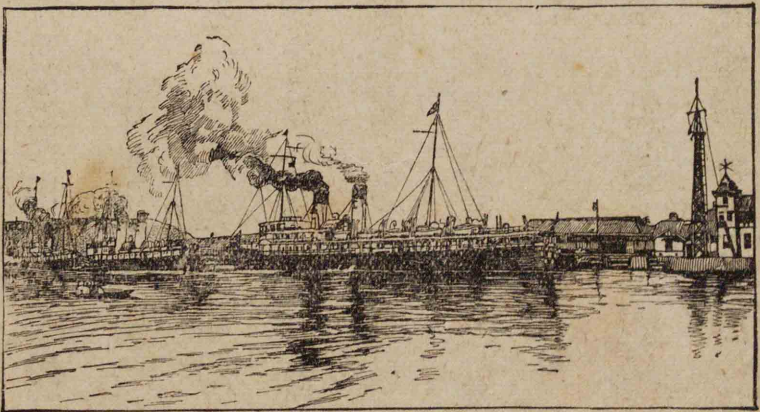
瀬戸内海方面の交通



下關海峡で貨物列車を運ぶ汽船

線との連絡をとつてゐる。片道に要する時間は僅かに十分内外に過ぎない。

下關と朝鮮の釜山との間にも、鐵道連絡船の往來があつて、山陽線及び九州の幹線と朝鮮の鐵道との連絡をとつてゐる。この連絡船の發着は、兩地とも各、毎日二回づつで、片道に要する時間は九時間内外である。



(港關下) 船絡連釜關

日本海方面の交通

瀬戸内海の交通・風景

岡山の南にある宇野と四國の高松との間にも、鐵道連絡船が往來してゐる。

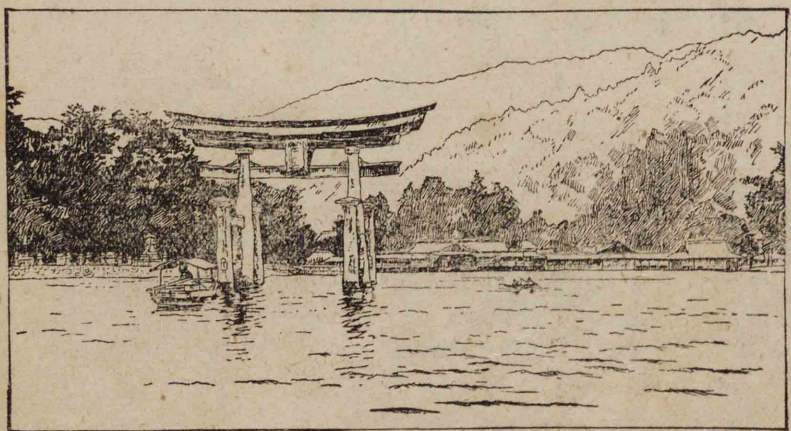
日本海方面の海岸には、山陰線が鳥取・米子・松江等の主な都會を通つて、東西に走つてゐる。この鐵道があるので、この方面の陸上交通はよほど便利であるが、海上の交通はまだ不便である。

瀬戸内海方面と日本海方面との交通も、鐵道が全通するまでは、不便をまぬかれない。

瀬戸内海は近畿・中國・四國・九州の四地方にかこまれ、古來我が國における海上交通の要路で、東には

神戸・大阪・西には門司・下關など、國內有數の開港場をひかへてゐるので、外國航路も多くこゝを通じ、内外國の汽船がたえず往來してゐる。

海上は、大小無數の島が散在してゐて、景色がよいので、海の公園といはれてゐる。島々の中、廣島灣内の嚴島は、嚴島神社があるので名高い。



嚴島神社

尋地一

五 都邑

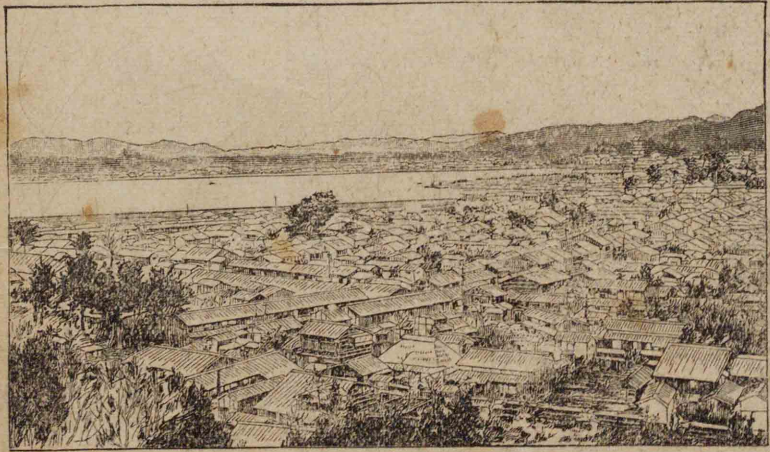
瀬戸内海方面の主な都邑

瀬戸内海の沿岸地方は産業が発達し、交通が便利であるから、都邑もしたがつて多い。其の主なものは、縣廳所在地たる岡山・廣島・山口と尾道・吳・下關とである。

岡山は旭川下流のほとりにあつて、交通の要路に當り、商業も工業も次第に發達する。廣島は大田川の下流の平地にあつて、宇品港をもつてゐるので、海陸の交通が便利で、商業も盛である。人口がおよそ十六萬、中國地方第一の都會である。吳は吳軍港

日本海方面  
の主な都邑

によつて發達した處で、兵器・艦船を製造する海軍の大工場がある。吳軍港は横須賀軍港と並び稱せられる主要な軍港である。下關は門司と共に瀬戸内海の門戸のやうになつてゐる處で、交通が便利で、商業が盛である。日本海の沿岸地方では、縣廳の所在地たる松江・鳥取が主な都會で、いづれも其の縣内



江 松

尋地一

山・川

の中心地になつてゐる。なほこの方面には、商業地の米子、出雲大社があるので名高い杵築もある。

### 第七 四國地方

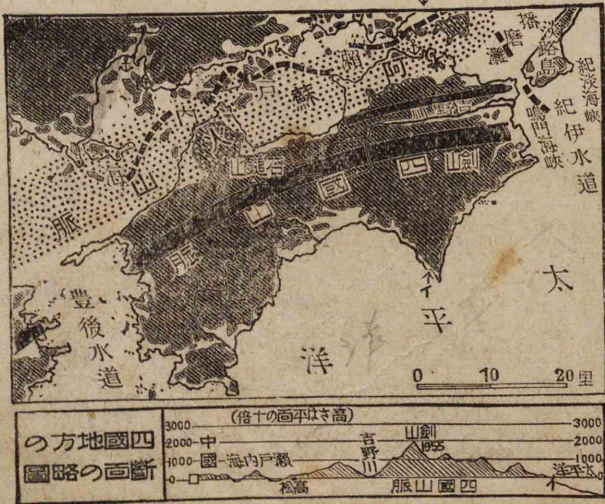
#### 一 區域

徳島・香川・愛媛・高知の四縣の區域を四國地方といふ。

#### 二 地勢

四國地方は山地が多くて、平地が甚だ少い。主な山脈は四國山脈で、東西に走

四國地方の地勢の略圖



り、**劍山**・**石鎚山**などの高山が其の中にある。川は大  
 ていこの山脈から出てゐる。最も大きいのは吉野  
 川で、四國山脈にそつて東に流れ、紀伊水道にはい  
 る。この川の沿岸には處々に平地がある。ことに下  
 流の流域の平地は、廣さにおいて四國地方第一の  
 徳島の平野である。この平野は、四國地方での主な  
 産業地であつて、交通も便利で、徳島、其の他の都會  
 がある。この外、**高松**・**松山**・**高知**の諸平野があつて、い  
 づれも四國地方での主な産業地となつてゐる。中  
 でも高松の平野、松山の平野は、海陸の交通も甚だ

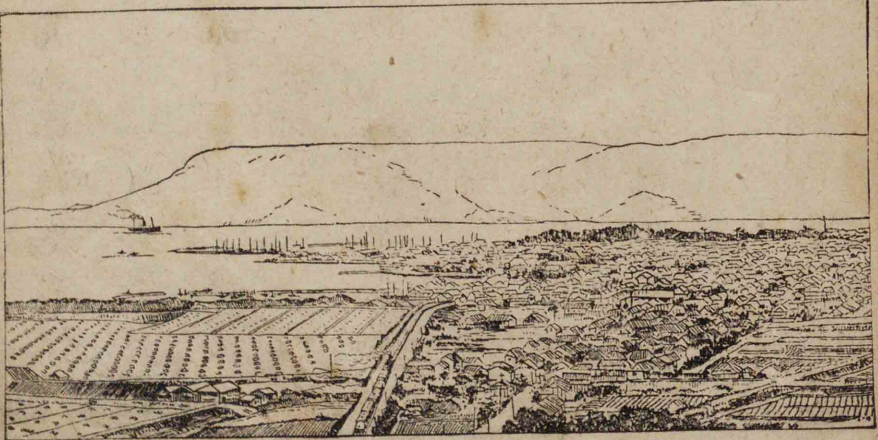
海岸

林業・水産業

便利で、都邑が多く、高松の平  
 野は人口がことに密である。  
 瀬戸内海方面や豊後水道方  
 面には灣が多く、又其の近海  
 には島が多い。灣も島も、港と  
 して利用されてゐるものが  
 少くない。

三 産業

太平洋方面は、北の四國山脈  
 と、近海の暖流との影響で、瀬

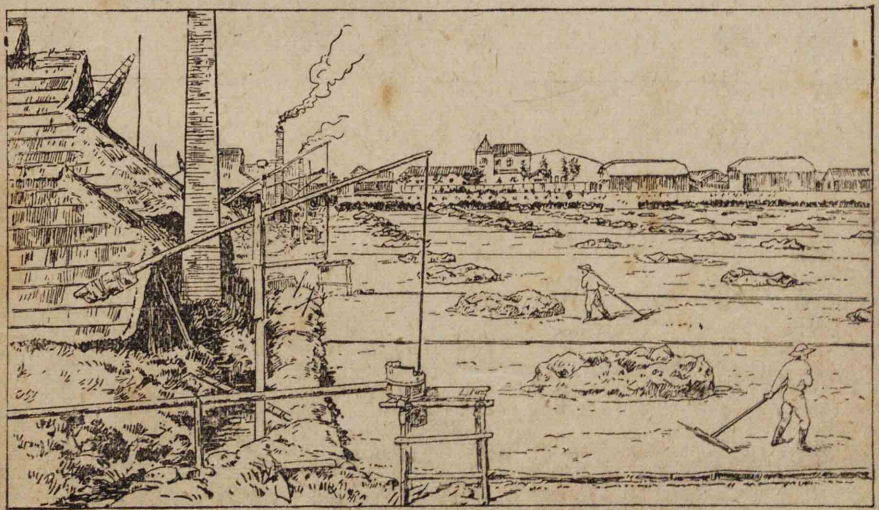


高松港



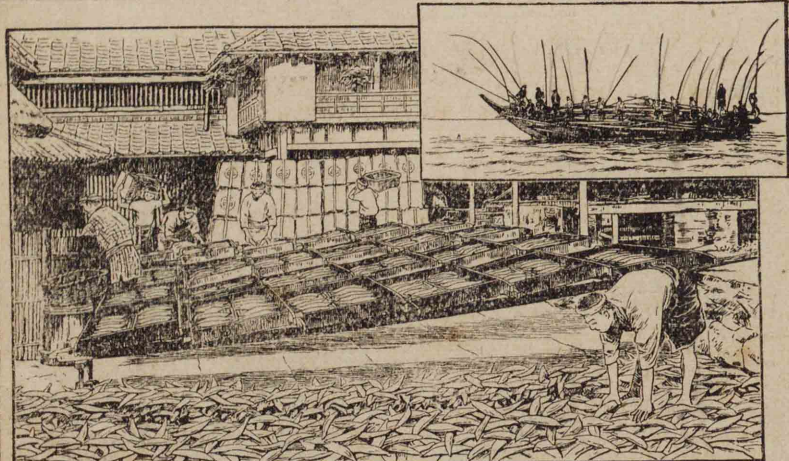
戸内海方面よりも氣候が一層暖かく、雨量がゆたかである。それ故、この方面では、樹木が繁茂し、木材の産額が多い。

瀬戸内海方面は、中國地方の瀬戸内海方面と同じやうに雨量が少く、晴天の日が多いから、砂濱は處々塩田に利用されてゐる。其の



坂出の塩田

尋地一

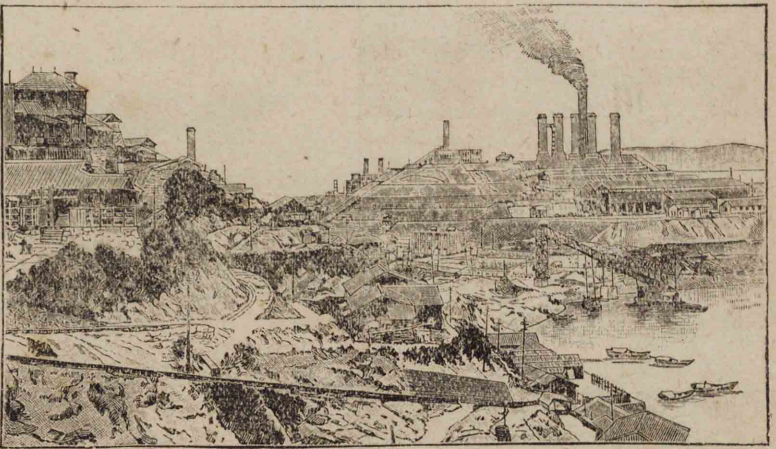


つかぶし製造をつか釣り(高知縣)

中坂出附近の塩田は、我が國で塩の産額の最も多い處である。又鳴門海峡の沿岸にある撫養も、塩の産地として知られてゐる。四國地方の近海は、魚類に富んでゐるから、漁業が盛で、漁獲高も多い。太平洋方面の近海では、かつをがたくさんにとり、高知縣の海岸地方では、かつをぶしの製造業が主な

石

鐵業、其の  
他の産業



産業の一つとなつてゐる。  
四國山脈の中にある別子鑛  
四山は、日立・足尾・小坂に次いで  
の大鑛山であつて、多く銅鑛  
の産し、其の鑛石は四阪島の  
製鍊所に送られて、銅に製せ  
所られる。

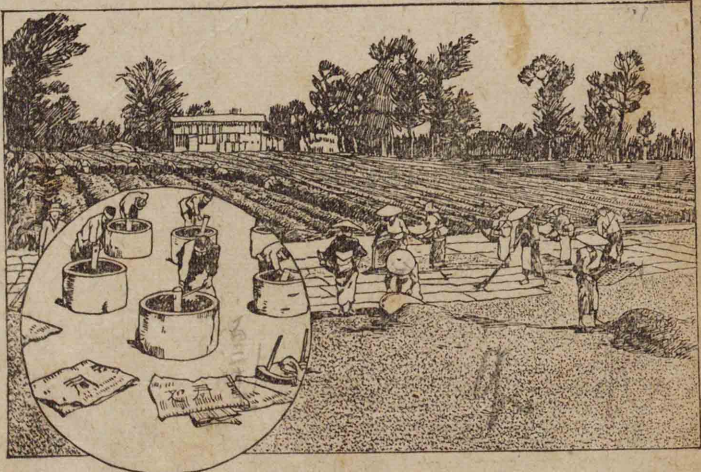
高知縣・愛媛縣では、各地でみ  
つまたやかうぞを原料とし  
て、和紙を製造してゐる。高知の西にある伊野は、和

野地一

紙の主産地である。  
この他、吉野川流域では煙  
草あるを産し、松山・今治・徳  
島では綿織物を製する。

#### 四 交通

四國地方の大部分はまだ  
交通の不便をまぬかれな  
いが、瀬戸内海の沿岸や、吉  
野川の沿岸には、鐵道が通じ、高松と宇野との間に  
は、鐵道連絡船が往來してゐる。



吉野川流域のあつたの製紙場

主な都邑は、多くは、海岸の平地にあつて港があり、大阪・神戸をはじめ、中國・九州の諸港と航路が相通じてゐて、船の出入がしげく、商業も盛である。港の主なもの、瀬戸内海方面では、高松・多度津・今治の諸港で、其の他の方面では、徳島・高知の諸港である。

五 都邑

高松・徳島・高知・松山は、いづれも縣廳の所在地で、それ〴〵其の縣内の中心地となつてゐる。中でも高松は交通上の要路に當つてゐて、商業も盛である。其の附近には坂出・丸龜など都邑が甚だ多い。丸龜

の南にある琴平は、金刀比羅宮があるので名高い處である。

松山は、近くに三津濱港・高濱港があつて、其の間の連絡が便利であるから、商業・工業が盛である。其の東にある道後は、温泉地として知られてゐる。豊後水道の沿岸には宇和島港がある。

第八 九州地方

一 區域

九州地方とは、九州島及び其の近海の島々と、琉球

列島、即ち福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・沖繩の八縣の區域をいふのである。

二 地勢

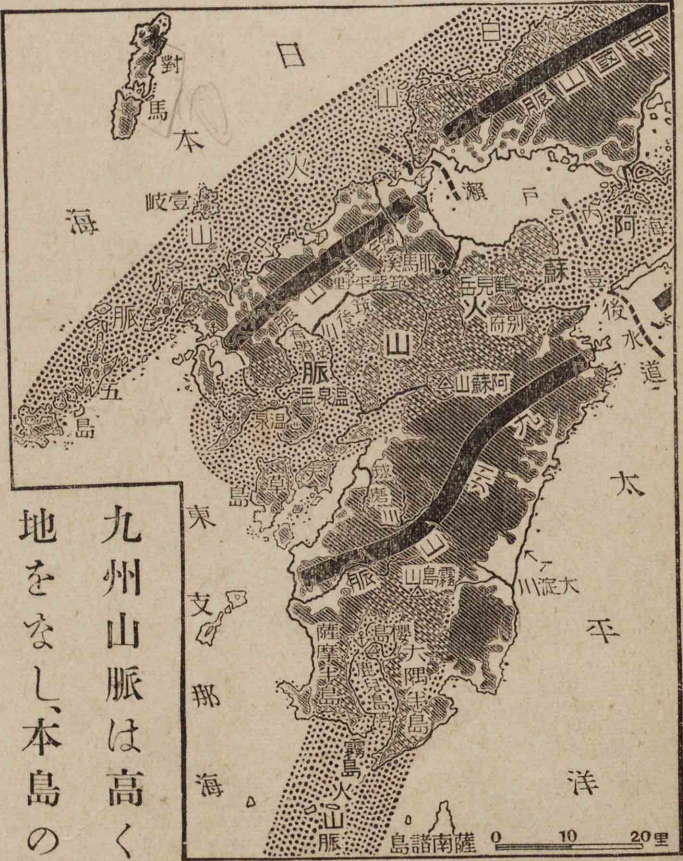
九州島の大部分は山地であるが、海に近い部分には處々に平地がある。海岸線は出入が極めて多く、近海は島が多い。

中國山脈のつゞきの筑紫山脈は、九州島の北海岸地方に東西に連なり、四國山脈のつゞきの九州山脈は、中部の東海岸から西南に向つて斜に走つてゐる。筑紫山脈は低く



九州地方の断面圖

山



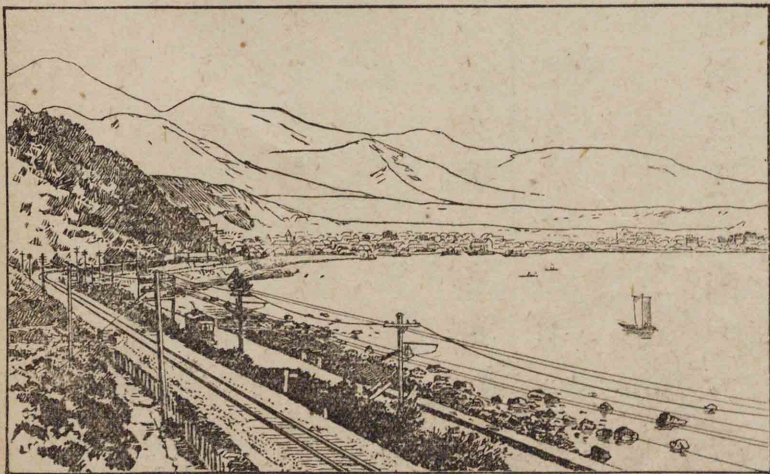
九州地方の地勢略圖

て、丘陵になつて居り、又處々で平地に横ぎられてゐるが、

になつてゐる。

この二つの山脈の間には東西に阿蘇火山脈が通

つてゐて、其の中に鶴見阿蘇温泉などの火山があり、又別府温泉などの温泉地や耶馬溪の名勝もある。阿蘇山は高さは約一千六百メートルに過ぎないが、この火山脈の主峯であつて、元の火口は面積がおよそ二十餘方里、諸外國に例のない大火口である。今では其の火口が埋まつて、中



別府と鶴見岳

尋地一

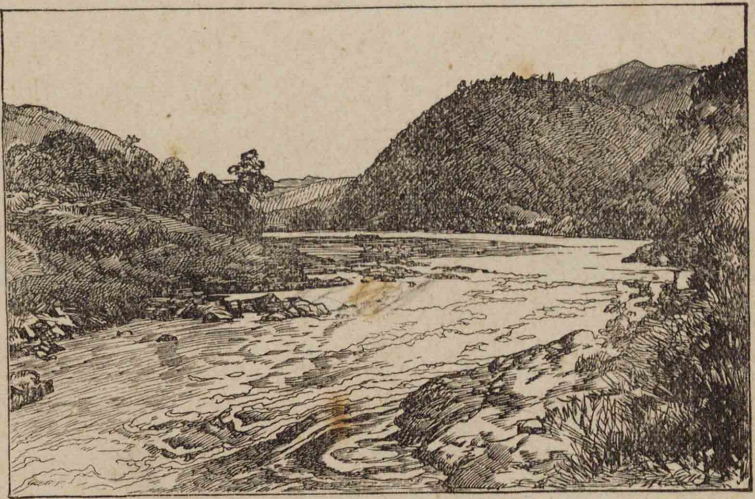


阿蘇山  
 中央部には新しい數個の火口丘がある。これと元の火口壁との間は平地になつてゐて、農業、牧畜が行はれ、都邑が幾つも出来てゐる。  
 霧島火山脈は九州島の南部を南北に通つてゐて、其の中に霧島山、櫻島などの山々がある。この火山脈は更に南の方、薩南諸島をへて、遠く臺灣島について



阿蘇山の断面圖

川平地



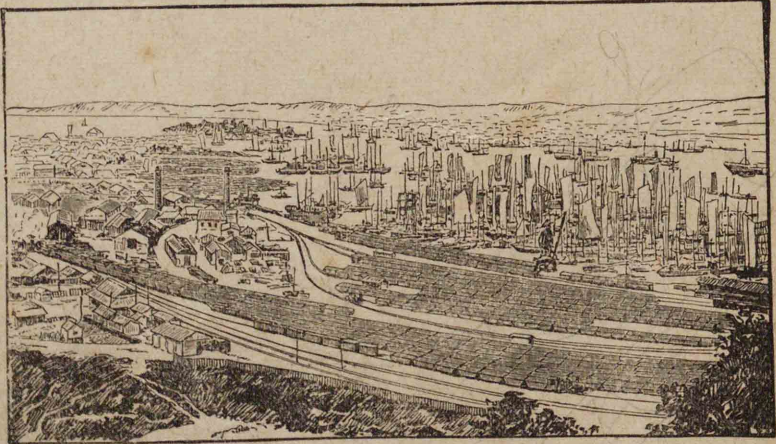
この海の沿岸、筑紫平野の南に熊本平野がある。こ

る。  
主な川は、西に流れる筑後川、球磨川と、東に流れる大淀川とである。いづれも水磨運に不便で、球磨川、大淀川は沿岸の平地も少い。しかし筑後川の下流、有明海の沿岸には、筑紫平野と呼ばれる広い平地がある。なほ

尋地一

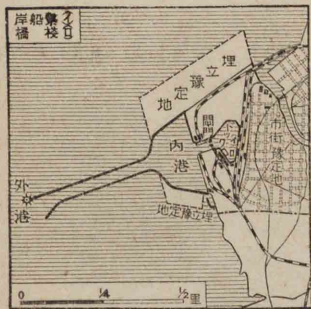
海岸

の兩平野は九州地方での主な農業地である。  
北部の海岸即ち日本海、東支那海の沿岸は、海岸線の出入が極めて多く、いたる處に天然の良港がある。門司、若松、福岡の博多、長崎の諸港はいづれも、國內屈指の商港となり、佐世保港は重要な軍港である。



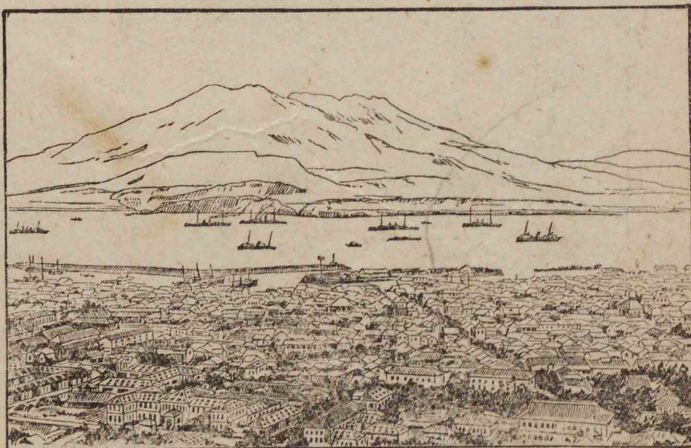
港 松 若

南部には大隅・薩摩の二半島にかこまれた鹿兒島灣があつて、其の西岸に鹿兒島港がある。又瀬戸内海沿岸には別府港があり、有明海の沿岸には三池港がある。有明海は波



三池港の圖

が甚だおだやかであるが、遠浅である上に、潮の干満の差が大きいのので、沿岸に自然の良港



鹿兒島港と櫻島

近海の島

がない。たゞ三池港だけは、特別の設備をと、のへてあるので、干潮の時でも船が自由に出入するこ

とが出来る。近海の島々の主なものは、西北の壹岐・對馬、西の五島諸島、天草諸島、南の薩南諸島である。

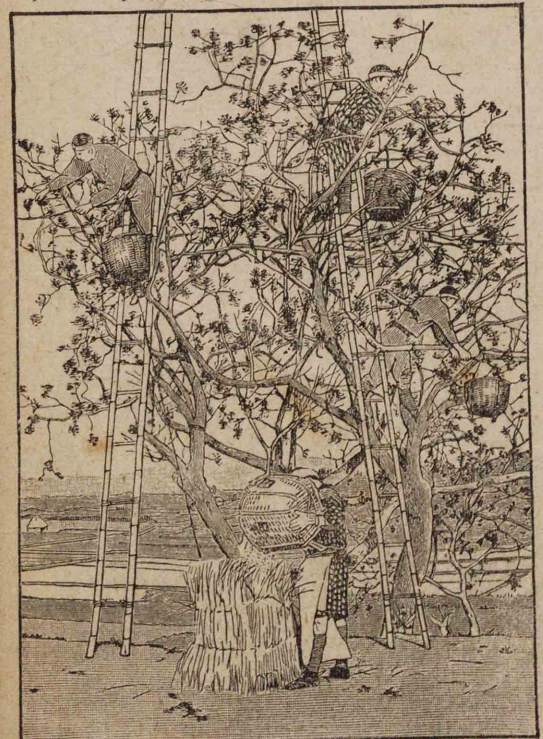
壹岐・對馬は九州島と朝鮮半島との間にあつて、日本海と東支那海との境になつてゐる。對馬と朝鮮半島との間には朝鮮海峡があり、對馬と壹岐との間には對馬海峡があつて、兩海峡とも交通上、大切な處である。薩南諸島は琉球列島と共に、一系の列

農業

島をなし、九州島と臺灣島との間に連なつてゐる。

三 産業

九州島は氣候が暖かて、米・麥・さつまいも・菜種等の農産物がたくさんに取れる。ことに筑紫平野・熊本平野など北部の平地は、耕地の面積に比べて、米の收穫高が甚だ多く、したがつて佐賀・熊本は米の大

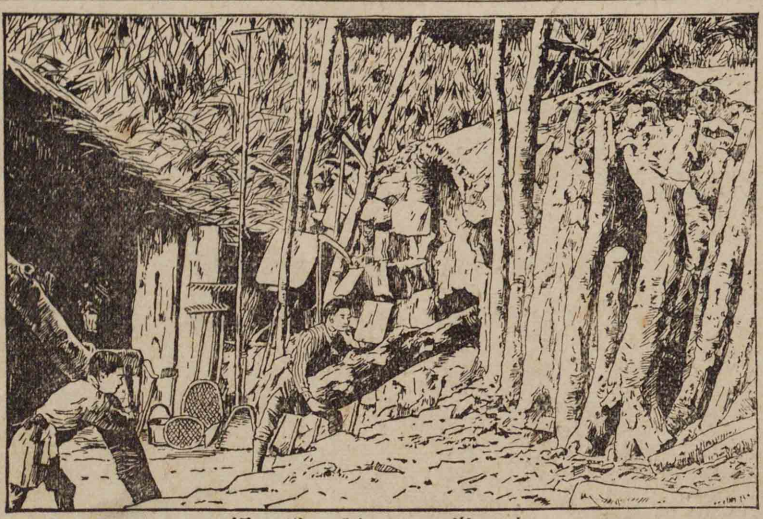


集採の實のせは

平地

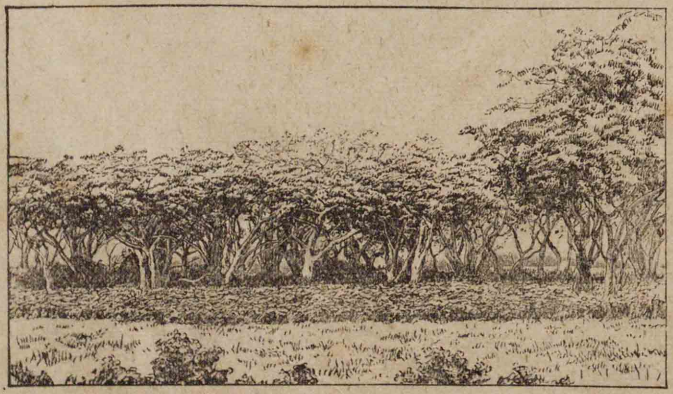
林業・牧畜

集散地となつてゐる。又筑紫平野でははぜの實、鹿



場造製の炭木

兒島灣の沿岸では煙草を産する。東南部の山地では木材が多く伐出され、處々で



林の木のせは



鑛業

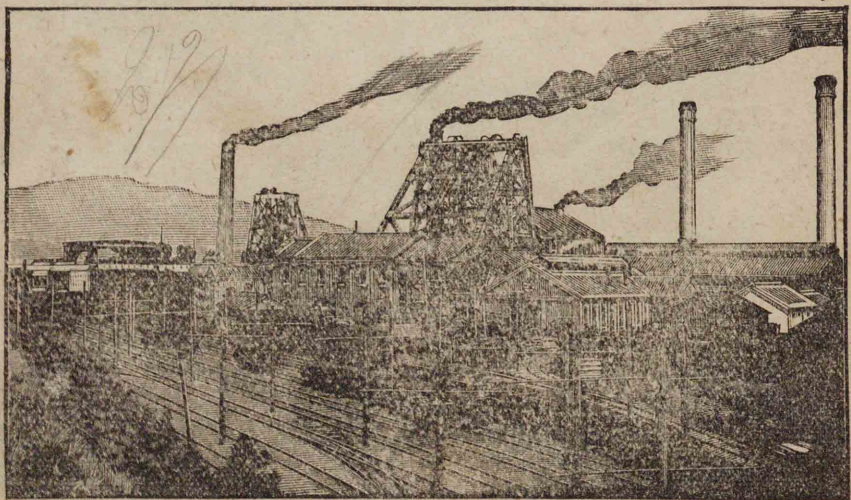
石炭の産額の比較  
我が國の石炭の年産額約千三噸 (大正九年)

	長崎縣	佐賀縣	福岡縣
九州地方	九州地方		
其の他の地方	九州地方		

木炭が製造される。又九州島は、牛馬が一般に飼養され、牛の頭數では中國地方をしのぎ、馬の頭數では奥羽地方をしのいでゐる。牛馬の頭數のことに多い處は、中部以南の諸縣である。鑛産物の最も主なもの石炭で、これに次ぐのは金である。石炭の主産地は福岡・佐賀・長崎の三縣で、其の産額を合計すると、我が國の總産額の半ば以上に及ぶのである。三縣中、炭坑

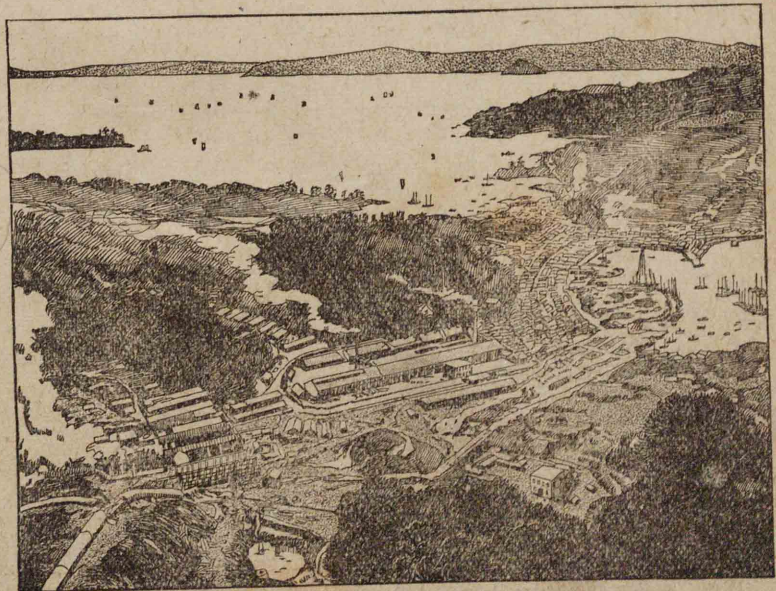
尋地一

の最も多いのは福岡縣で、同縣の遠賀川流域にある筑豊炭田、有明海沿岸にある三池炭田には、處々に國內有數の大炭坑がある。筑豊炭田から出る石炭は、主として若松・門司の二港から、三池炭田から出る石炭は、主として三池港から、内外各地に積出される。又佐



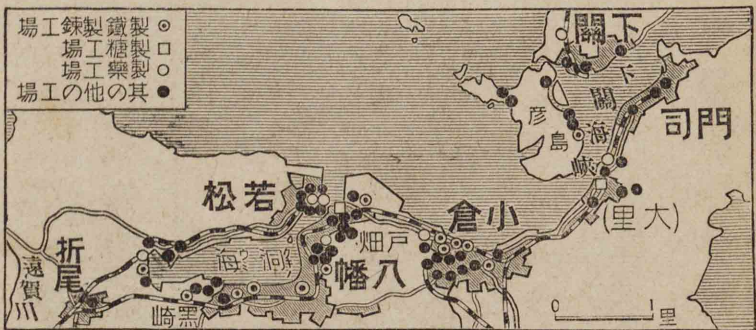
三池炭田の一大炭坑 (萬田)

賀縣産の石炭は唐津港から、長崎縣産の石炭は長崎港から積出されるものが多い。大分縣・鹿兒島縣は、我が國での金の主な産地であつて、處々に金山がある。其中、製鍊高のことに多いのは、大分縣の佐賀關・鯛生の兩鑛山である。



佐賀關製鍊所

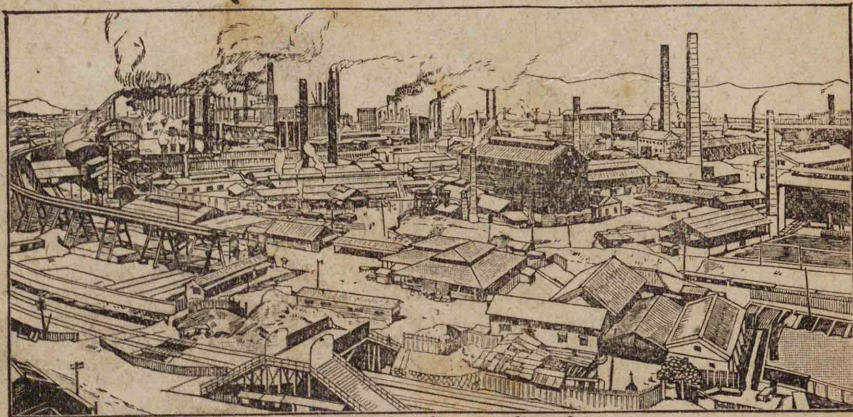
工業



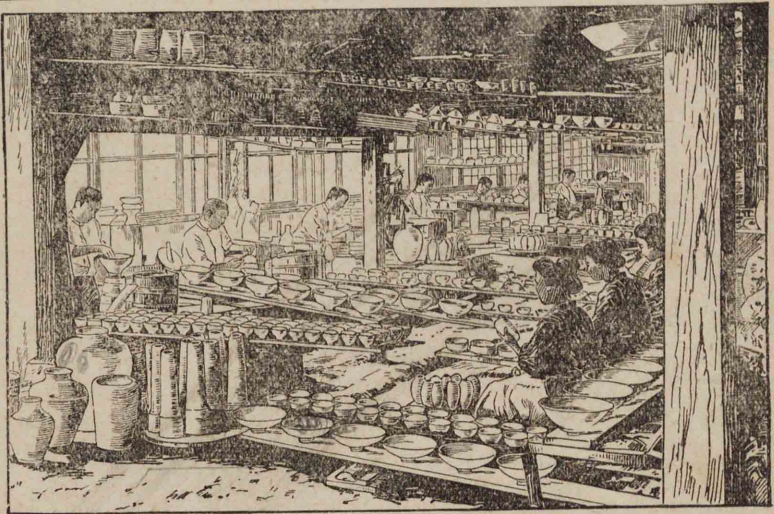
發達してゐる。ことに門司から

九州北部における大工場

の北部は海陸の交通の便が開けて、工業原料の輸入、製品の輸出共に便利であり、又石炭の供給が甚だたやすいから、各地に工業が



八幡の製鐵所



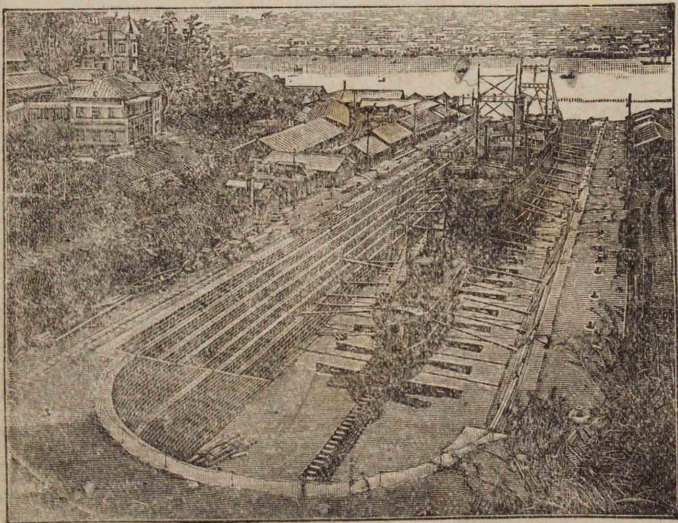
有田の陶器製造場

西の方、折尾に至る一帯の地は、あまたの工業市が相連なつて、我が國の一大工業地區をなしてゐる。製品の主なものには鐵、砂糖、藥品で、中でも鐵は八幡にある官設の製鐵所で製せられ、其の産額は我が國の總産額の過半を占めてゐる。この製鐵所で原料に用ふる鐵鑛は、大部分支那から、

尋地一

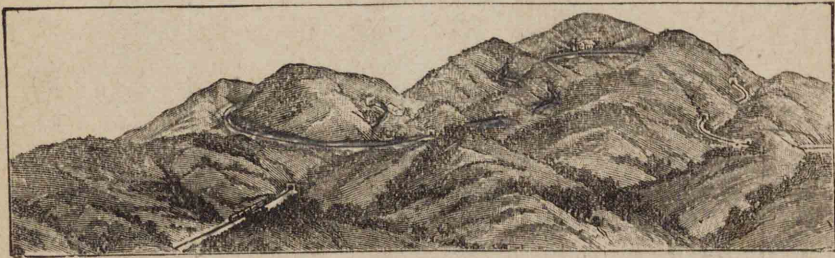
水産業

一部分朝鮮から運ばれるのである。砂糖は臺灣産、ジャワ産等の粗糖を原料として、精製されるのである。この外、有田の製陶、長崎の造船、久留米の緋織、大分縣の疊表の製造も、名高い工業である。近海では一般に漁業が盛である。漁獲物の主なものは、西北部のいか、南部のか



長崎の造船所

陸上の交通



(一) 九州山脈を横ぎる鹿兒島線の分部一の圖

つを、東部のぶりて、いかはするめに製造されて、多く長崎から支那に輸出され、かつをは多く鹿兒島縣でかつをぶしに製造される。又有明海の北岸では、遠淺を利用して、かきを養殖し、西方の海では海底からさんごを採つてゐる。

四 交通

九州の鐵道は門司を起點として各地に通じ、門司下關間を往來する鐵

尋地一

道連絡船によつて、山陽線と連絡する。幹線は、鹿兒島線と長崎線とで、鹿兒島線は西の方、福岡を過ぎ、鳥栖・熊本をへて、鹿兒島に至り、長崎線は鳥栖から西の方、佐賀をへて、長崎に至る。いづれも我が國における鐵道の幹線の一部である。鹿兒島線が九州山脈を横ぎつてゐる處は、山の傾斜が急であるから、線路は山腹をめぐり、九州山脈を横ぎる鹿兒島線の一部の圖(二)あまたのトンネルを通つて、次第に上つてゐる。

この外、主な鐵道に日豊線



(二) 九州山脈を横ぎる鹿兒島線の一部の圖

海上の交通

があつて、小倉から東南に向つて海岸地方を通り、別府・大分・宮崎を経て、西の方、山地を横ぎり、鹿兒島線と其の南部で連絡してゐる。又北部の工業地区では、鐵道の幹線に並んで、電車の線路も通じ、筑豊炭田では、幹線及び日豊線に連絡するあまたの鐵道線路があつて、陸上の交通がことに便利である。北部の海岸は良港が多い上に、其の位置が世界交通の要路に當つてゐるから、海上の交通は甚だ便利で、門司・若松・長崎の諸港には、内外國の汽船が多く出入する。中でも門司は瀬戸内海の關門になつ

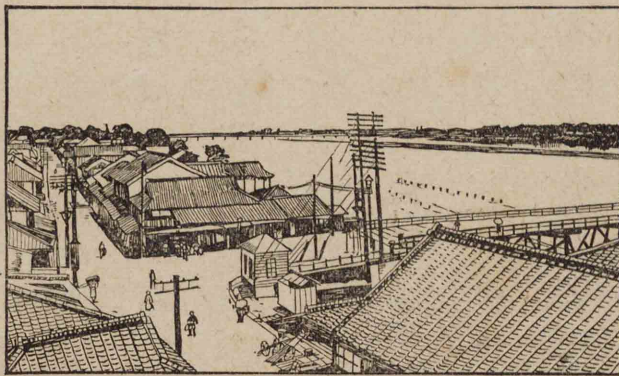
尋地一

てゐて、下關海峡を通る汽船が必ず寄港する處であるから、船の出入が多いことでは、國內第一に位してゐる。三池港にも外國の汽船の出入が次第に多くなる。長崎港の附近からは、釜山・上海等へ海底電線が通じてゐる。

五 都邑

九州島は一般に人口が密で、ことに海岸の平地には都會が多い。中でも北部の工業地区には、門司・小倉・八幡・若松等の工業市が連なつてゐる。なほ北部

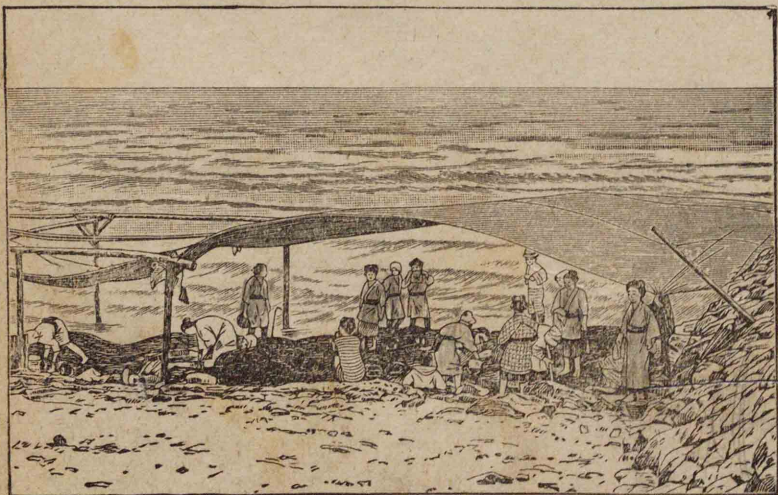
には福岡・佐賀・長崎・久留米、其の他の部分には、熊本



川淀大と崎宮

鹿兒島 宮崎大 分別府 がある。 福岡・佐賀・長崎 熊本鹿

兒島・宮崎・大分は、縣廳の所在地である。



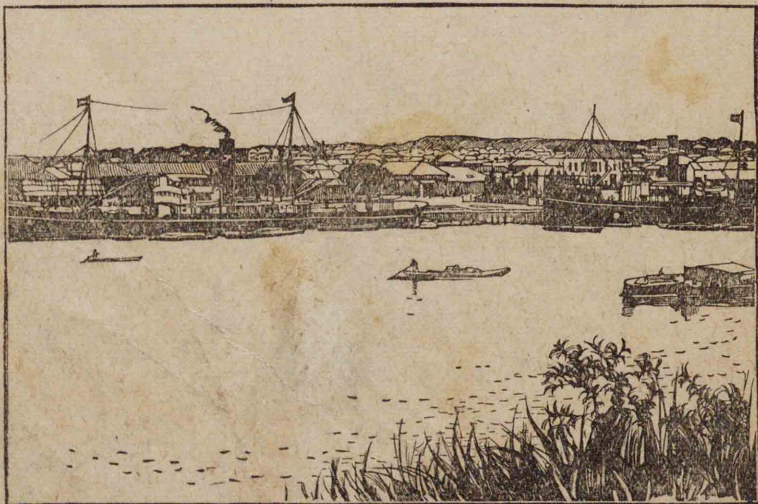
湯砂の府別

尋地一

福岡は人口が十萬餘、商業も工業も盛であつて、こゝに九州帝國大學がある。長崎は古來、開港場として名高く、又大きい造船所があつて、人口は約十八萬、九州第一の大都會である。

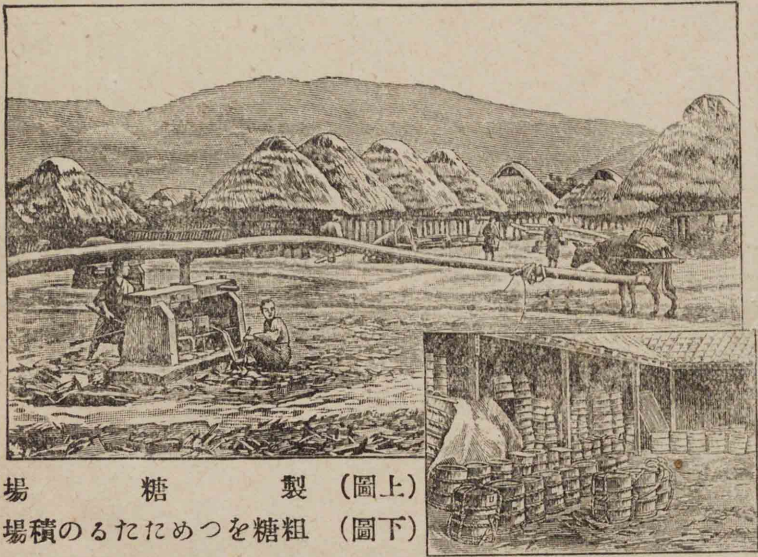
六 薩南諸島・琉球列島

薩南諸島と琉球列島とは、熱帯に近い處にあつて、其の上、近海に暖流がある



港 那 那

ので、氣候が甚だ暖かて、雨が多い。又地味もさたり



製糖場 (圖上) 粗糖をためたの積場 (圖下)

きびの栽培に適してゐるので、多くさたりきびを産し、粗糖の製造が盛である。なほさつまいもの栽培、豚の飼養も、一般に行はれてゐる。

薩南諸島の主な島は大島で、琉球列島の主な島は沖繩島である。沖繩島

尋地一

は列島中、最もよく開けてゐて、那覇首里などの都會がある。那覇は琉球列島唯一の港市である。

尋常小學地理書 卷一 兒童用終

附錄

一 關東地方

府縣名	府在縣地廳	管轄區域	府縣名	府在縣地廳	管轄區域
東京府	東京	武藏の一部分 伊豆七島 小笠原諸島	群馬縣	前橋	上野
神奈川縣	横浜	武藏の一部分 相模の大部分	栃木縣	宇都宮	下野
千葉縣	千葉	上總の大部分 安房	茨城縣	水戸	常陸 下總の一部分
埼玉縣	浦和	武藏の一部分			

二 奥羽地方

府縣名	府在縣地廳	管轄區域	府縣名	府在縣地廳	管轄區域
福島縣	福島	磐城の大部分	青森縣	青森	陸奥の大部分
宮城縣	仙台	陸奥の一部分 磐城の一部分	秋田縣	秋田	羽後の大部分 陸奥の一部分
岩手縣	盛岡	陸奥の一部分 陸奥の一部分	山形縣	山形	羽前の一部分

尋地一

三 中部地方

府縣名	府在縣地廳	管轄區域	府縣名	府在縣地廳	管轄區域
静岡縣	静岡	駿河の大部分 伊豆の大部分	新潟縣	新潟	越後 佐渡
愛知縣	名古屋	三河 尾張	富山縣	富山	越中
岐阜縣	岐阜	美濃 飛騨	石川縣	金澤	加賀 能登
山梨縣	甲府	甲斐	福井縣	福井	越前 若狹
長野縣	長野	信濃			

四 近畿地方

府縣名	府在縣地廳	管轄區域	府縣名	府在縣地廳	管轄區域
滋賀縣	大津	近江	奈良縣	奈良	大和
京都府	京都	山城の大部分 丹波の大部分 丹後	和歌山縣	和歌山	紀伊の大部分
大阪府	大阪	攝津の大部分 河内 和泉	三重縣	津	伊勢 伊賀 志摩 紀伊の一部分
兵庫縣	神戶	淡路 播磨 但馬 丹波の一部分			



五 中國地方

山	廣	岡	府
口	島	山	縣
縣	縣	縣	名
山	廣	岡	所
口	島	山	府
長周	備安	備美	在
門防	後藝	中作	縣
			地
			應
			管
			轄
			區
			域
島	島	府	
取	根	縣	
縣	縣	名	
島	松	所	
取	江	府	
伯因	隱石	在	
耆幡	岐見	縣	
		地	
		應	
		管	
		轄	
		區	
		域	

六 四國地方

德	愛
島	媛
縣	縣
高	松
松	山
讚	伊
岐	佐

七 九州地方

福	鹿
岡	兒
縣	島
佐	鹿
賀	兒
肥	島
豐	崎
筑	日
前	向
の	
一	
部	
分	

尋地一

長崎縣 長崎縣 長崎縣 肥前的一部分 肥後對馬

大分縣 大分縣 大分縣 豐前的一部分 豐後

熊本縣 熊本縣 熊本縣 肥前的一部分 肥後對馬

鹿兒島縣 鹿兒島縣 鹿兒島縣 薩摩大隅 日向

大正十四年一月二十五日翻刻印刷  
大正十四年三月五日翻刻發行

尋常小學地理書卷一兒童用

臨時定價 金拾七錢

著作權所有

著作兼  
發行者

文  
部  
省

翻刻發行  
兼印刷者

東京書籍株式會社

代表者

石川正作

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社工場

發賣所

東京市麴町區飯田町一丁目三番地  
株式會社  
國定教科書共同販賣所

大正十四年二月二日  
文部省檢査濟

鳥根縣志  
卷之四  
智郡  
子名  
布  
壽五  
三上  
春

広島大学図書  
2000042096  
